
まちづくりに関するアンケート調査

－ 企業従業者対象 －

調査結果報告書

2015 年（平成 27 年）8 月

高 砂 市

目 次

I 調査の目的と方法	1
1. 調査目的	2
2. 調査設計と回収結果	2
3. 報告書の見方	2
II 企業従業者アンケート調査集計結果	3
1. 回答者属性	4
2. お勤めの状況・通勤について	11
3. お住まいのことについて	16
4. 高砂市の生活環境について	23
5. 人口減少対策の取組について	32
6. 結婚・子どもについて	40
6. 自由意見	44
III アンケート調査票	48

I 調査の目的と方法

1. 調査目的

本年度は「第4次高砂市総合計画」（計画年度：平成23年度～32年度）の中間年にあたり基本計画の見直しを行う。本調査は、居住環境や人口減少対策について企業従業員の意向を把握し、基本計画の見直しや地方創生総合戦略の基礎資料とすることを目的に実施するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	企業従業者
抽出方法	企業を通じて従業者の方に依頼
調査方法	郵送による回収
調査期間	平成27年5月14日～平成27年6月5日
調査票配布数	1,000人
有効回収数	622人
有効回収率	62.2%

3. 報告書の見方

- (1) 回収票については、最も重要な属性全てが無回答でない限り、有効票として取り扱っている。
- (2) 回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数（N=Number of case）として算出した。
- (3) 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- (4) 各設問において、居住地区や年齢の無回答は集計に含んでいないため、集計結果の合計は全体票数にならないことがある。
- (5) 図表では、コンピュータ入力のため、回答の選択肢を短縮している場合がある。

Ⅱ 企業従業者アンケート調査集計結果

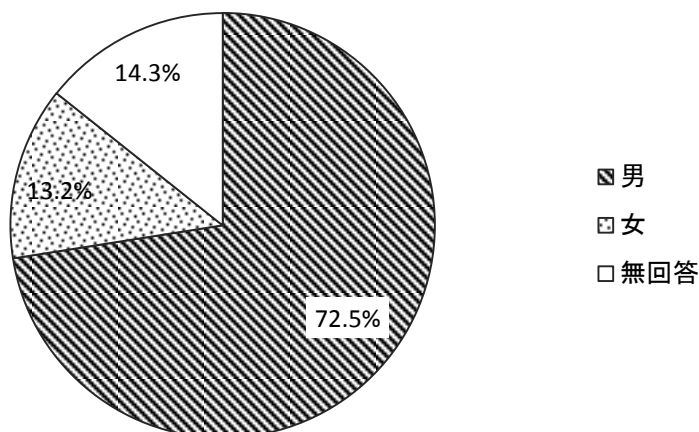
1. 回答者属性

問 1 性別

回答者の性別については、「男」が 70%強、「女」が 15%割弱である。回答の 15%弱は無回答である。男性の回答で年代別の最も多いのが「29 歳以下」で 34.4%を占め、女性の回答で年齢別の最も多いのが「30 歳から 39 歳まで」で 42.7%を占める。

【図表 1 性別】

(N=622)



【図表 2 男女別・年齢】

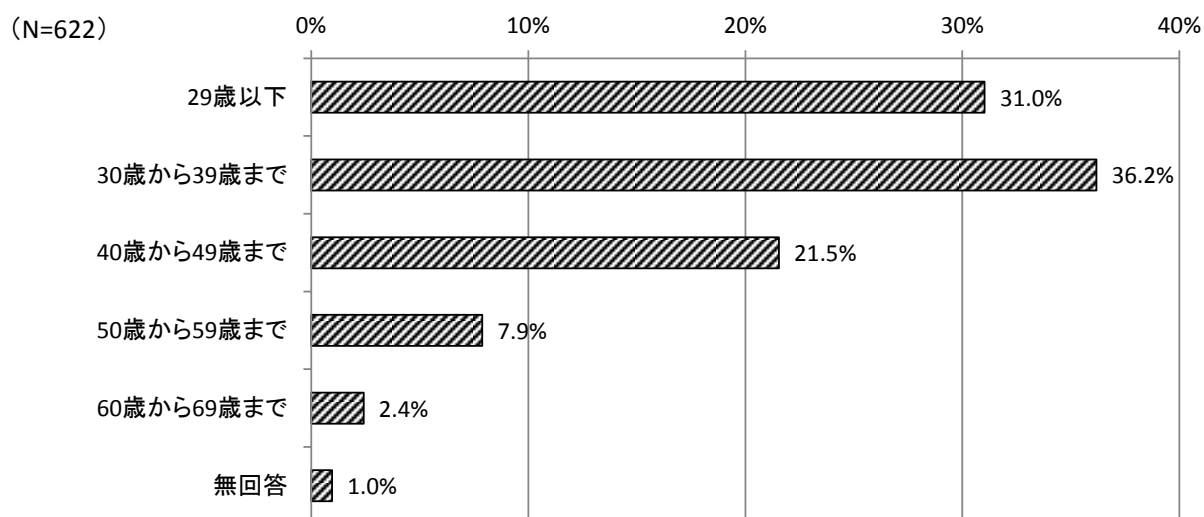
(%)

	29歳以下	30歳から39歳まで	40歳から49歳まで	50歳から59歳まで	60歳から69歳まで	無回答
全体(N=622)	31.0	36.2	21.5	7.9	2.4	1.0
男性(N=451)	34.4	33.9	20.0	9.3	2.0	0.4
女性(N=82)	28.0	42.7	19.5	4.9	4.9	
無回答(N=89)	16.9	41.6	31.5	3.4	2.2	4.5

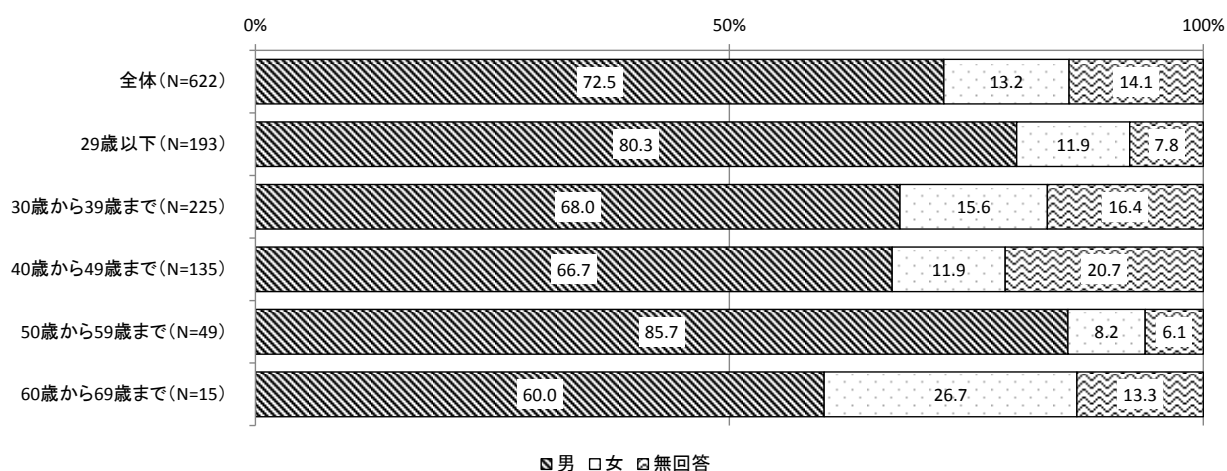
問2 年齢

回答者の年齢については、「30歳から39歳まで」が最も多く、36.2%である。年代別・性別で見ると、「50歳から59歳まで」では男性の割合が85.7%と高い。

【図表3 年齢】



【図表4 年代別・性別】



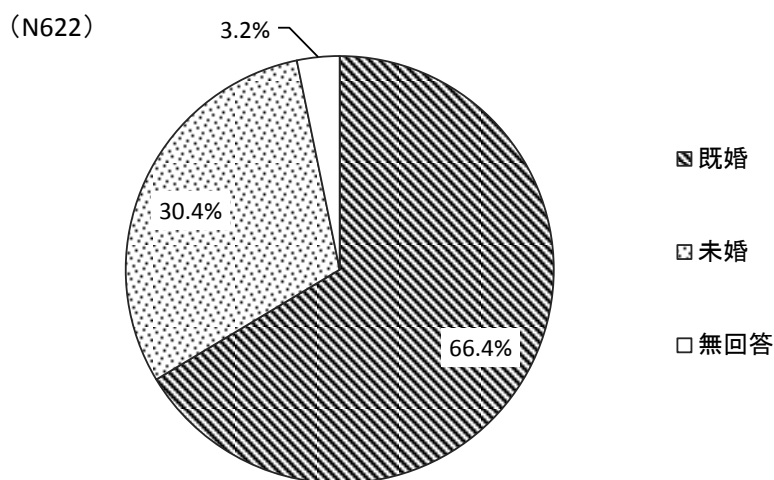
【図表5 年代別・性別】

	(%)		
	男	女	無回答
全体 (N=622)	72.5	13.2	14.1
29歳以下 (N=193)	80.3	11.9	7.8
30歳から39歳まで (N=225)	68.0	15.6	16.4
40歳から49歳まで (N=135)	66.7	11.9	20.7
50歳から59歳まで (N=49)	85.7	8.2	6.1
60歳から69歳まで (N=15)	60.0	26.7	13.3
無回答 (N=6)	33.3		66.7

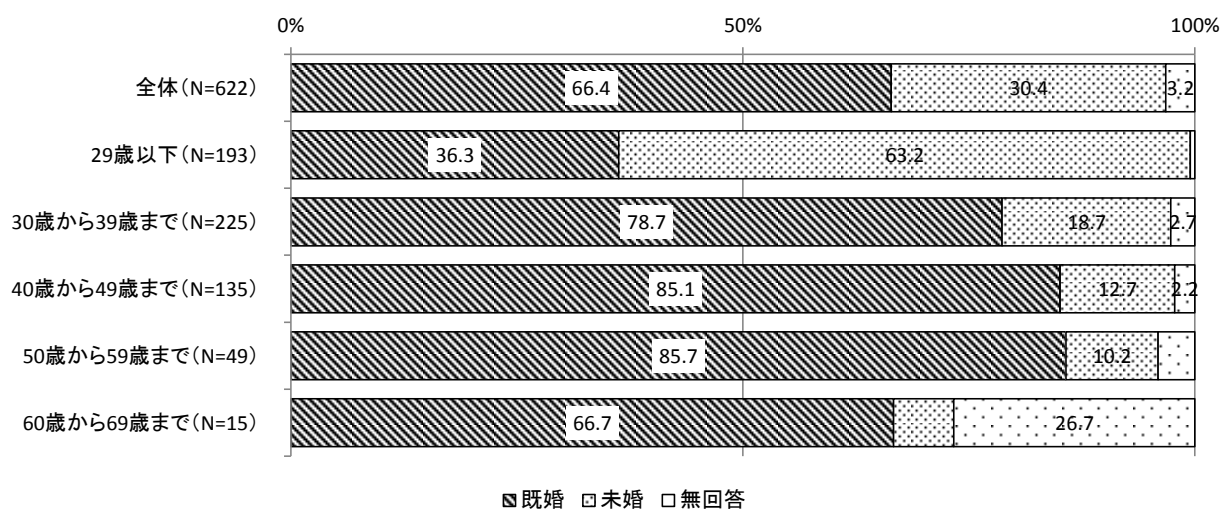
問3 結婚

回答者の66.4%は「既婚」である。ただし、年代別にみると「29歳以下」では63.2%が「未婚」である。30代以降は「既婚」が多数になる。男女別でみた場合、女性の「未婚」の割合が若干高い。

【図表6 結婚】



【図表7 年代別・結婚】



【図表8 男女別・結婚】

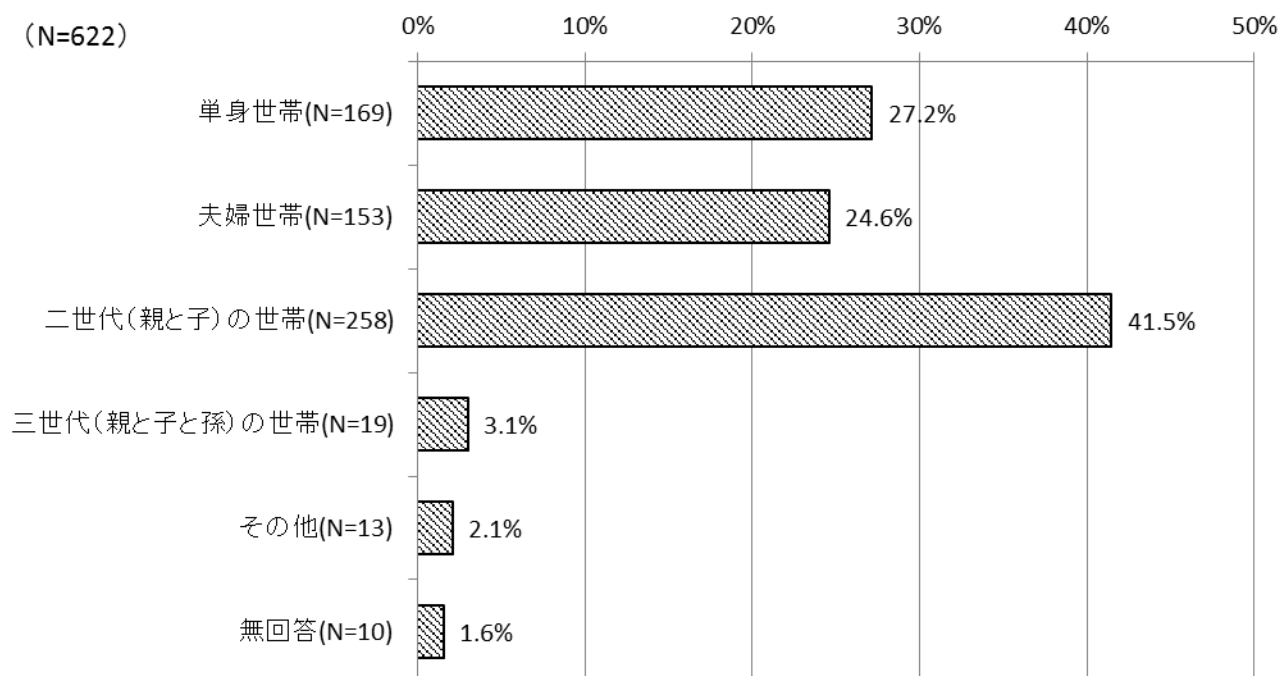
(%)

	既婚	未婚	無回答
全体(N=622)	66.4	30.4	3.2
男性(N=451)	65.0	33.0	2.0
女性(N=82)	75.6	20.7	3.7
無回答(N=40)	65.9	26.1	9.1

問4 家族構成

「二世代（親と子）の世帯」が最も多く40%強を占める。続いて、「単身世帯」が多い。

【図表9 家族構成】



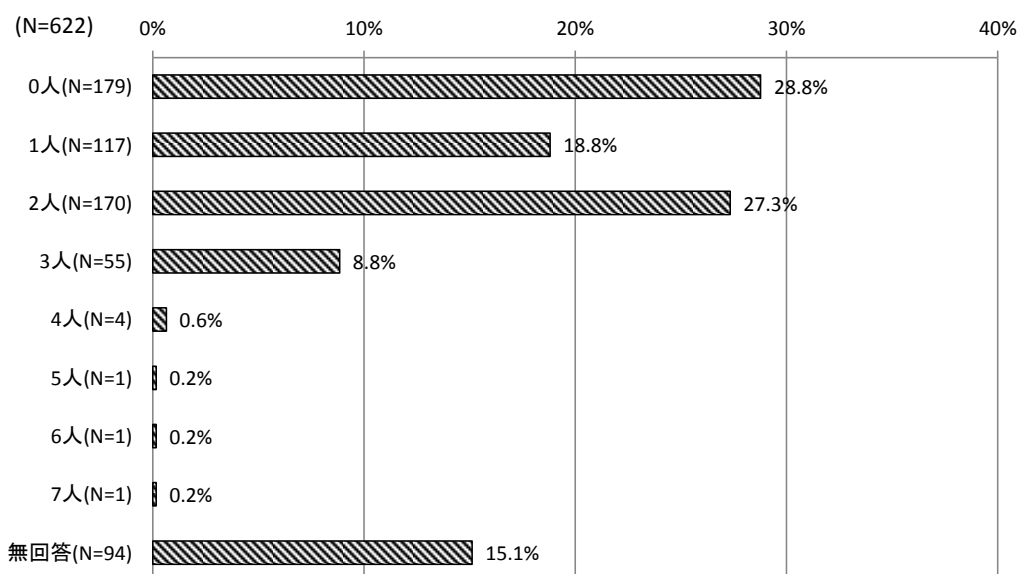
【図表10 家族構成】

	(%)
全体(N=622)	100.0
単身世帯(N=169)	27.2
夫婦世帯(N=153)	24.6
二世代(親と子)の世帯(N=258)	41.5
三世代(親と子と孫)の世帯(N=19)	3.1
その他(N=13)	2.1
無回答(N=10)	1.6

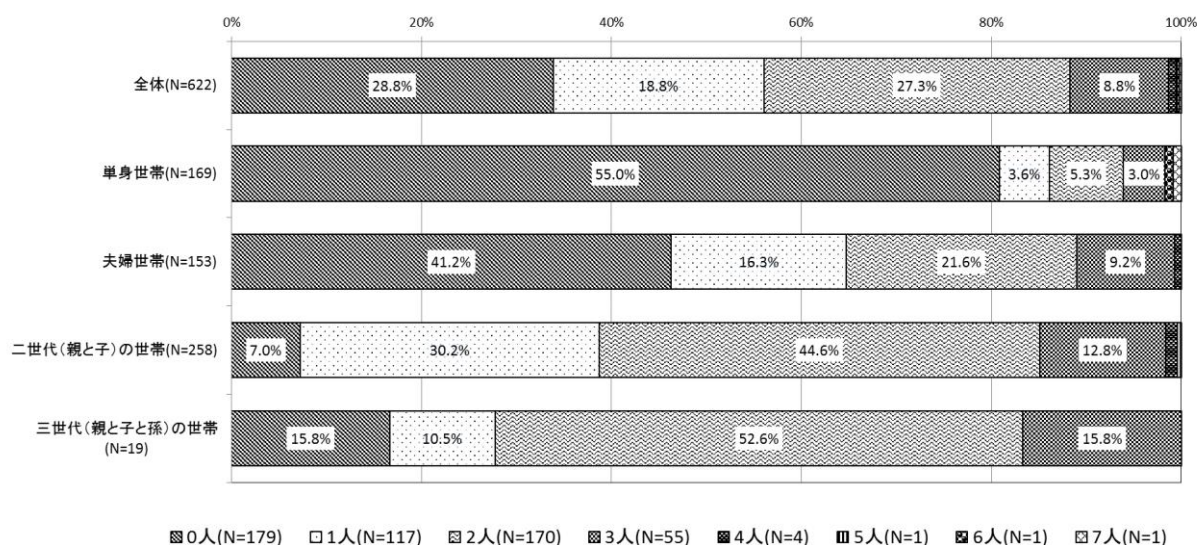
問5 子どもの数

全体から見て、子どもの数は「0人」が最も多く28.8%を占める。次いで「2人」が27.3%である。家族構成別にみると、「単身世帯」では子どもの数が「0人」の割合が高い。

【図表 11 子どもの数】



【図表 12 家族構成別・子どもの数】



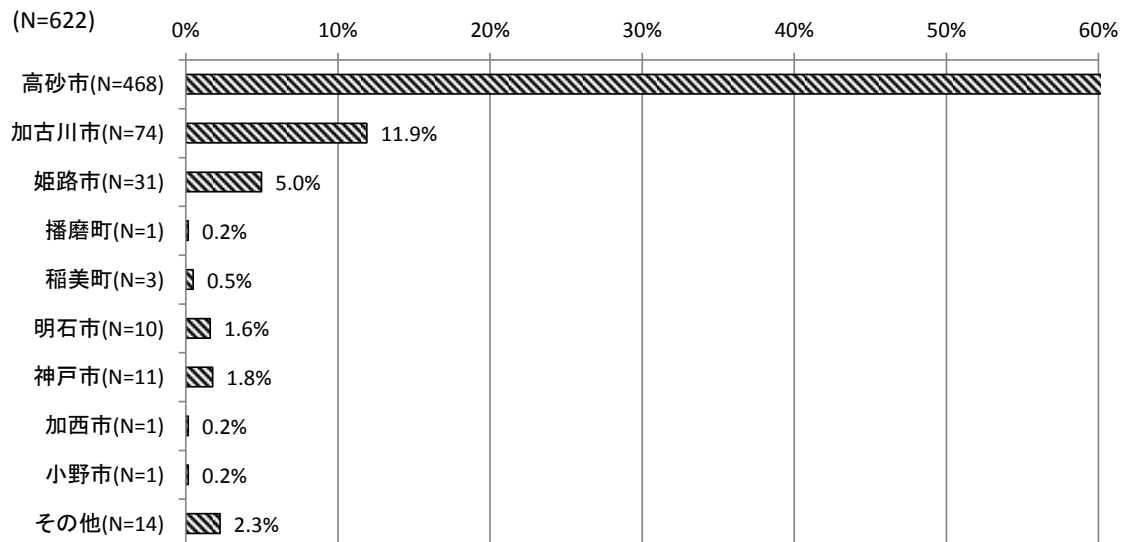
【図表 13 家族構成別・子どもの数】

	0人(N=179)	1人(N=117)	2人(N=170)	3人(N=55)	4人(N=4)	5人(N=1)	6人(N=1)	7人(N=1)	無回答(N=94)
全体(N=622)	28.8%	18.8%	27.3%	8.8%	0.6%	0.2%	0.2%	0.2%	15.1%
単身世帯(N=169)	55.0%	3.6%	5.3%	3.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%
夫婦世帯(N=153)	41.2%	16.3%	21.6%	9.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
二世代(親と子)の世帯(N=258)	7.0%	30.2%	44.6%	12.8%	1.2%	0.4%	0.0%	0.0%	3.9%
三世代(親と子と孫)の世帯(N=19)	15.8%	10.5%	52.6%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
その他(N=13)	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%
無回答(N=10)	0.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

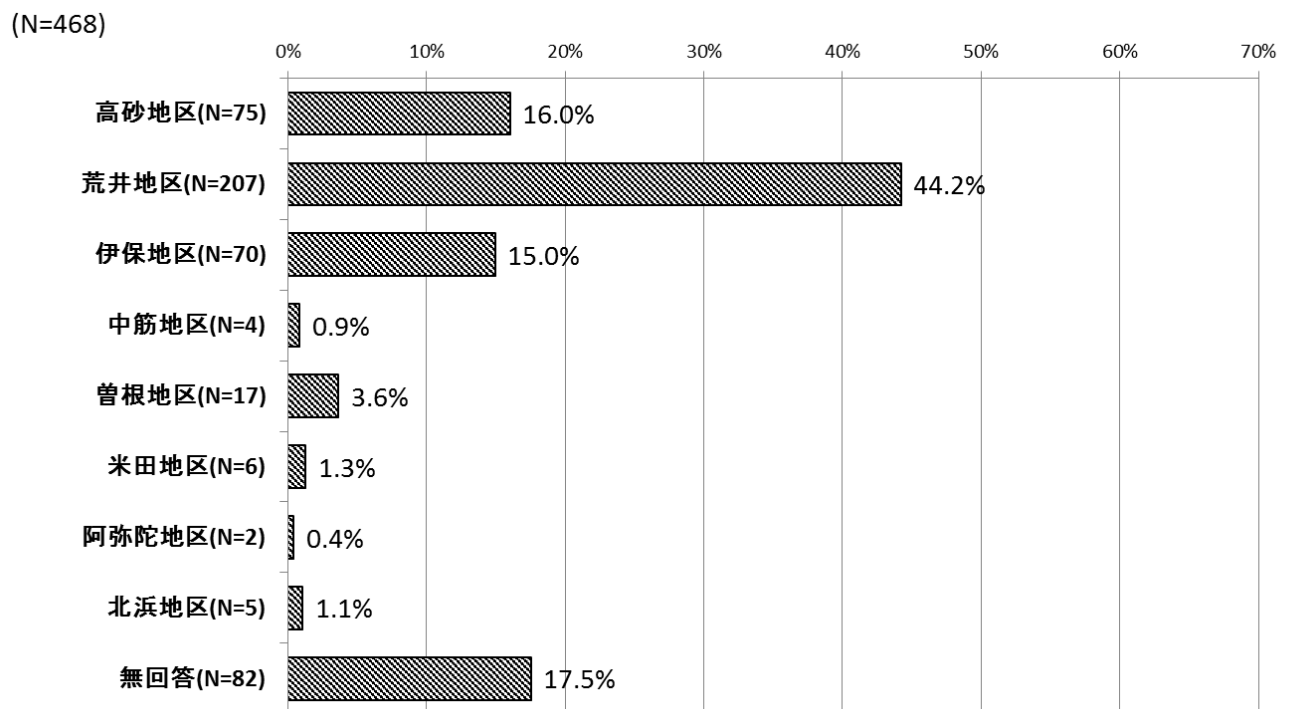
問6 住所地

回答者の住所地は「高砂市」「加古川市」「姫路市」の順に多い。高砂市内での内訳では「荒井地区」「高砂地区」「伊保地区」の順に多い。

【図表 14 住所地】



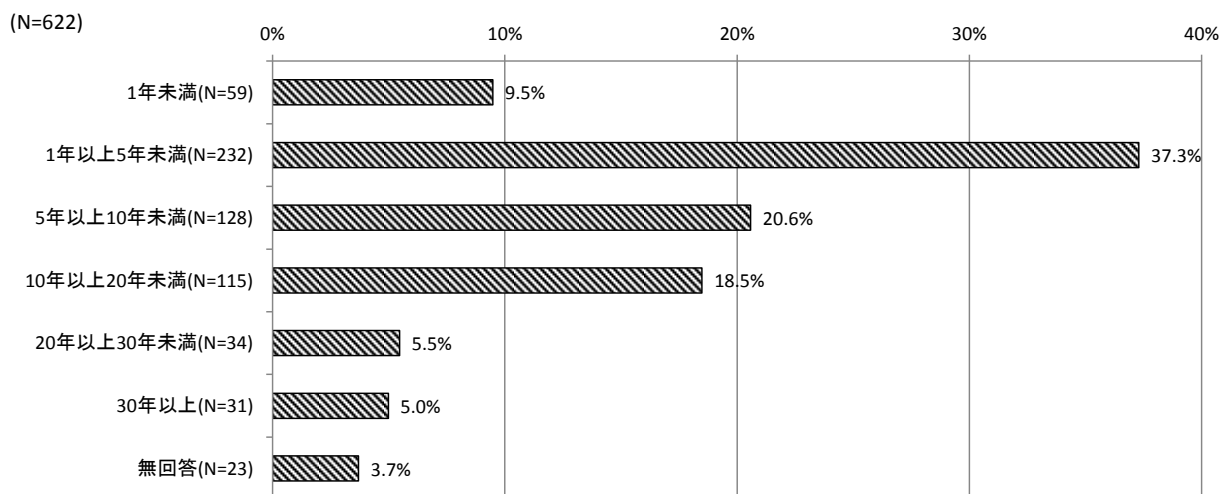
【図表 15 高砂市内での住所地】



問7 現在の住所地の居住期間

「1年以上5年未満」と「5年以上10年未満」の割合が高い。

【図表 16 現在の住所地の居住期間】



【図表 17 高砂市地区別・市内居住期間】

(%)

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体(N=468)	10.5	42.3	20.9	16.9	3.4	2.8	3.2
高砂地区(N=75)	10.7	53.3	21.3	6.7	1.3	1.3	5.3
荒井地区(N=207)	14.5	47.3	18.8	12.1	1.9	1.9	3.4
伊保地区(N=70)	1.4	37.1	25.7	25.7	4.3	2.9	2.9
中筋地区(N=4)	－	25.0	25.0	25.0	25.0	－	－
曾根地区(N=17)	11.8	29.4	17.6	23.5	11.8	－	5.9
米田地区(N=6)	－	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	－
阿弥陀地区(N=2)	－	－	－	50.0	50.0	－	－
北浜地区(N=5)	－	40.0	20.0	40.0	－	－	－
無回答(N=82)	9.8	30.5	23.2	25.6	3.7	6.1	1.2

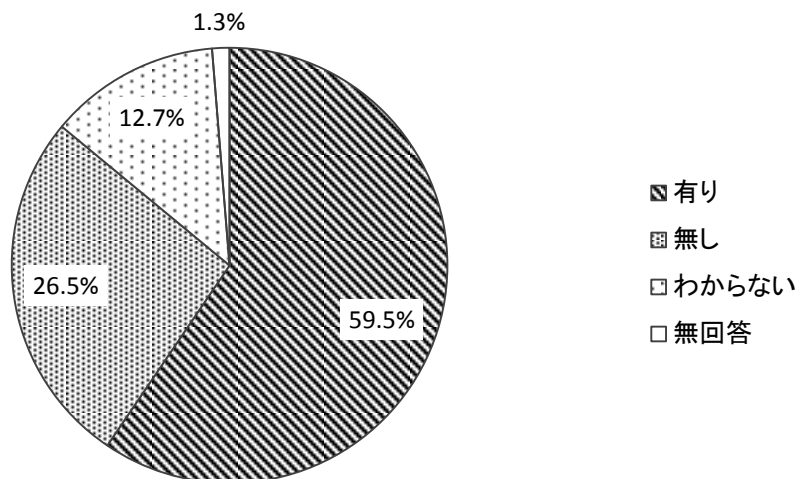
2. お勤めの状況・通勤について

問8 お勤め先には、転勤はありますか。

転勤が「有り」の回答が 59.5%。「無し」 26.5%である。

【図表 18 転勤】

(N=622)



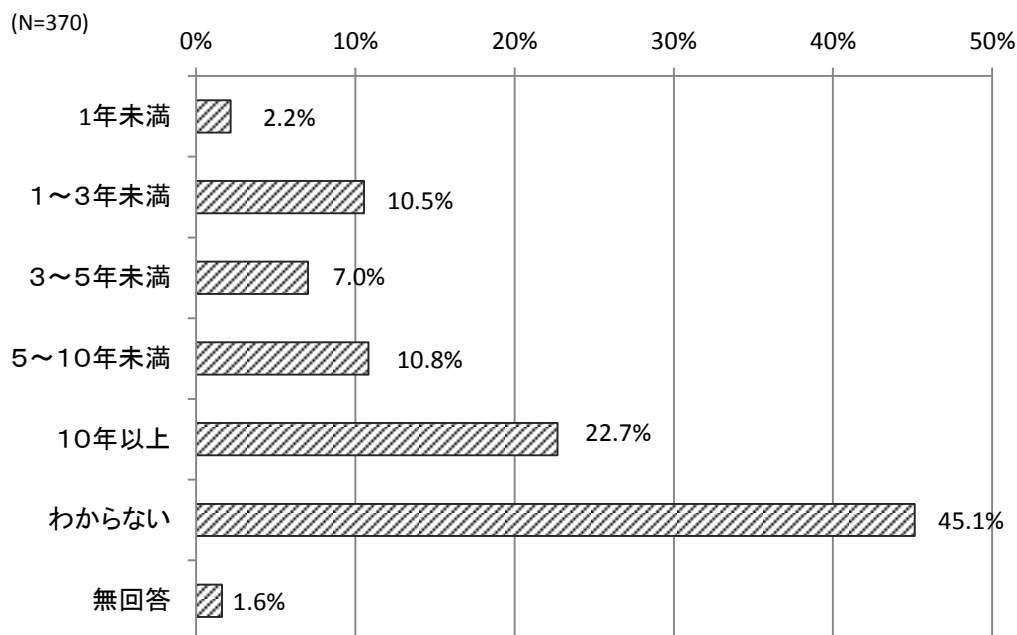
【図表 19 転勤】

	(%)
全体(N=622)	100.0
有り(N=370)	59.5
無し(N=165)	26.5
わからない(N=79)	12.7
無回答(N=8)	1.3

問9 転勤がある人のみ（前問で「有り」と回答した人）にお尋ねします。今後の高砂市での職場の勤務期間はどのくらいですか。

転勤が「有り」の回答のうち、高砂市での勤務期間について最も多い回答が「わからない」で45.1%。次いで「10年以上」との回答が22.7%である。

【図表 20 今後の高砂市での勤務期間】



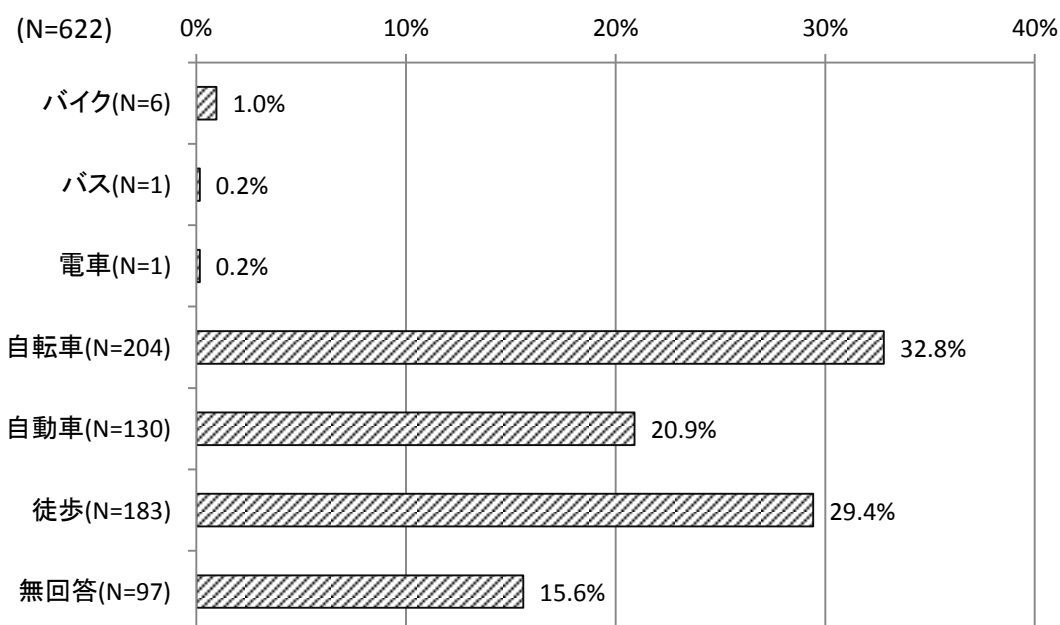
【図表 21 年代別・今後の高砂市での勤務期間】

	(%)					
	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	わからない
全体(N=370)	2.2	10.5	7.0	10.8	22.7	45.1
29歳以下(N=92)	3.3	17.4	12.0	21.7	5.4	40.2
30歳から39歳まで(N=133)	3.0	9.8	4.5	9.0	18.0	53.4
40歳から49歳まで(N=98)	1.0	7.1	4.1	2.0	34.7	50.0
50歳から59歳まで(N=39)	－	5.1	10.3	15.4	41.0	23.1
60歳から69歳まで(N=8)	－	12.5	12.5	－	62.5	12.5

問 10 通勤時の主な交通手段として、何を利用されていますか。

最も多い主な通勤手段は「自転車」で 32.8%である。次いで「徒歩」で 29.4%である。主な通勤手段が「バイク」の人の年齢層は「30 歳から 39 歳まで」「40 歳から 49 歳まで」に集中している。

【図表 22 通勤手段】



【図表 23 通勤手段別・住所地】

	高砂市(N=468)	加古川市(N=74)	姫路市(N=31)	播磨町(N=1)	稲美町(N=3)	明石市(N=10)	神戸市(N=11)	加西市(N=1)	小野市(N=1)	その他(N=14)	無回答(N=8)
全体(N=622)	75.2	11.9	5.0	0.2	0.5	1.6	1.8	0.2	0.2	2.3	1.3
バイク(N=6)	33.3	66.7									
バス(N=1)	100.0										
電車(N=1)		100.0									
自転車(N=204)	94.6	3.9								1.0	0.5
自動車(N=130)	39.2	36.2	13.1		1.5	3.1	0.8	0.8	0.8	3.8	0.8
徒歩(N=183)	98.9									0.5	0.5
無回答(N=97)	41.2	14.4	14.4	1.0	1.0	6.2	10.3			6.2	5.2

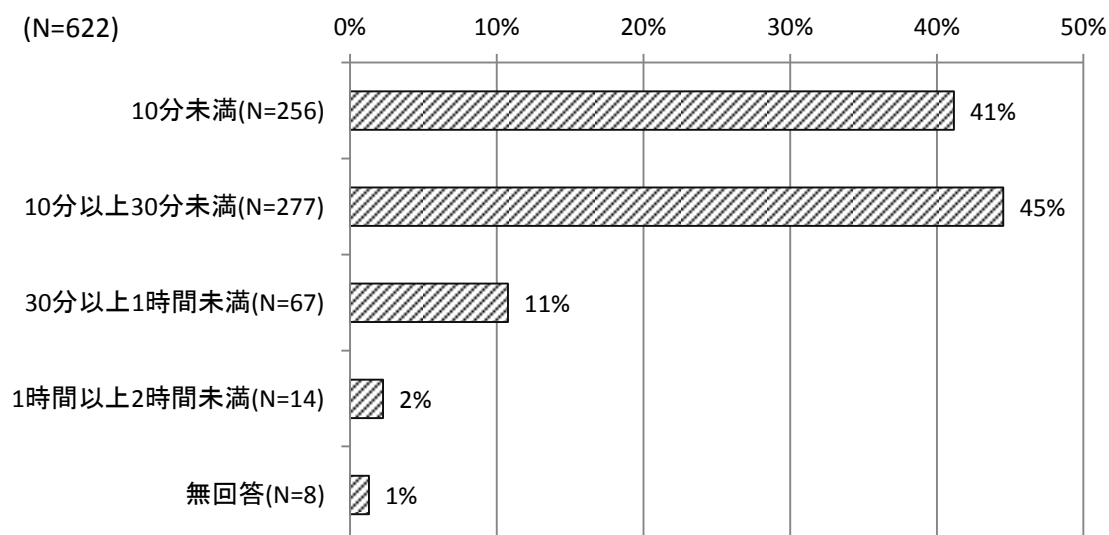
【図表 24 通勤手段別・年齢】

	29歳以下(N=193)	30歳から39歳まで(N=225)	40歳から49歳まで(N=135)	50歳から59歳まで(N=49)	60歳から69歳まで(N=15)	無回答(N=5)
全体(N=622)	31.0	36.2	21.5	7.9	2.4	1.0
バイク(N=6)		50.0	50.0			
バス(N=1)	100.0					
電車(N=1)			100.0			
自転車(N=204)	42.6	33.3	15.2	5.9	2.5	0.5
自動車(N=130)	20.8	26.9	33.1	15.4	3.8	
徒歩(N=183)	31.1	49.2	13.7	4.4	1.6	
無回答(N=97)	21.6	29.9	32.0	9.3	2.1	5.2

問 11 勤務先までの片道の通勤時間はどのくらいかかりますか。

「10分以上30分未満」の割合が高い。次いで「10分未満」の割合が高い。通勤時間「10分未満」の中で96.5%は住所地が高砂市である。

【図表 25 通勤時間】



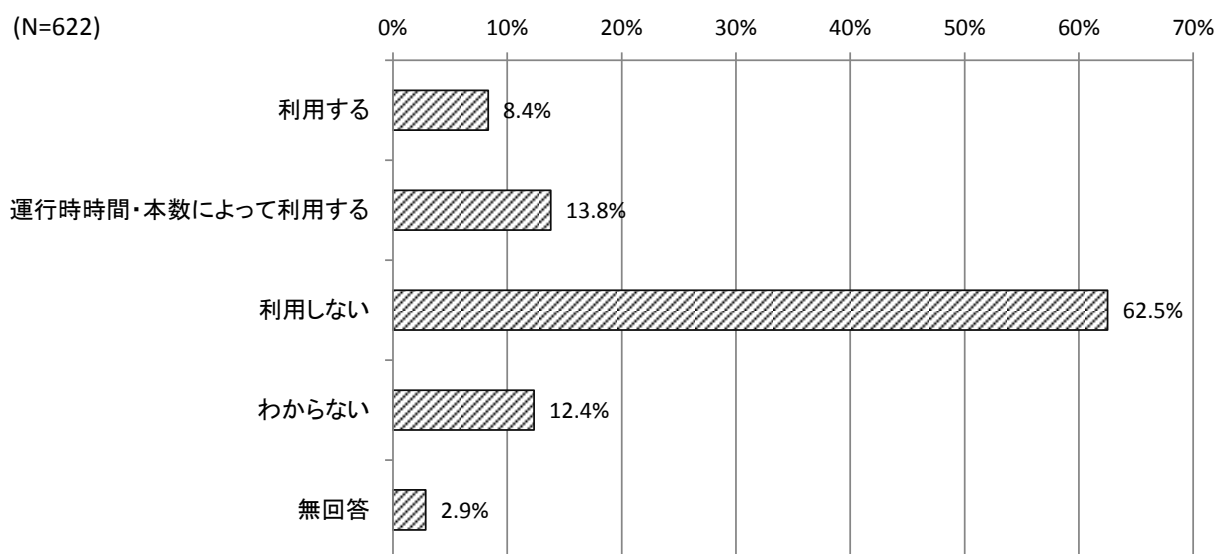
【図表 26 通勤時間別・住所地】

	高砂市	加古川市	姫路市	播磨町	稲美町	明石市	神戸市	加西市	小野市	その他	無回答
全体(N=622)	75.2%	11.9%	5.0%	0.2%	0.5%	1.6%	1.8%	0.2%	0.2%	2.3%	1.3%
10分未満(N=256)	96.5%	1.2%	0.8%							0.8%	0.8%
10分以上30分未満(N=277)	74.7%	19.1%	4.0%	0.4%	0.4%	0.4%				0.7%	0.4%
30分以上1時間未満(N=67)	11.9%	26.9%	26.9%		3.0%	13.4%	7.5%	1.5%	1.5%	6.0%	1.5%
1時間以上2時間未満(N=14)	14.3%						42.9%			42.9%	
無回答(N=8)	50.0%										50.0%

問 12 最寄駅から勤務先付近までへのバス運行があった場合、バスを利用されますか。

「利用しない」との回答が 62.5%。他の肢を引き離し圧倒的多数となった。「利用しない」との回答の中で住所地別にみると、住所地が高砂市のものが 48.9%で最も高い。バスを「利用しない」との回答した人の交通機関は「自転車」の割合が最も高い。

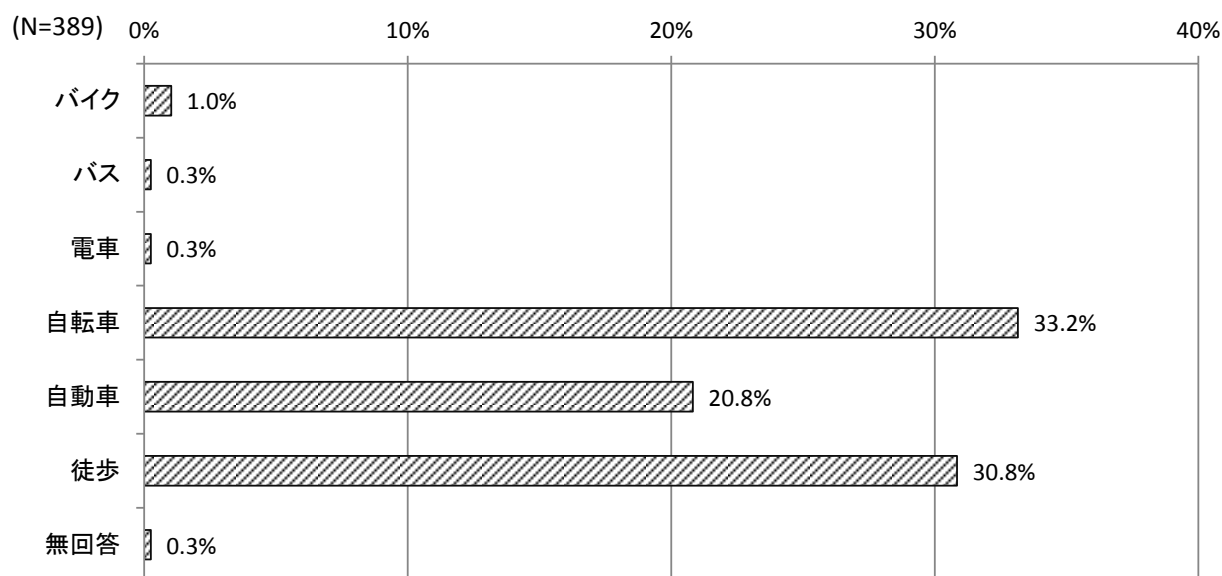
【図表 27 バスの利用】



【図表 28 バスの利用別・住所地】

	(%)									
	高砂市	加古川市	姫路市	播磨町	稲美町	明石市	神戸市	加西市	小野市	その他
全体(N=622)	75.2	11.9	5.0	0.2	0.5	1.6	1.8	0.2	0.2	2.3
利用する(N=52)	5.3	0.6	0.8		0.2	0.6	0.2		0.2	0.5
運行時時間・本数によって利用する(N=86)	9.6	2.3	0.8			0.2	0.3	0.2		0.5
利用しない(N=389)	48.9	7.4	2.4		0.3	0.8	1.0			1.1
わからない(N=77)	9.3	1.6	1.0	0.2			0.2			0.2
無回答(N=18)	2.1						0.2			0.6

【図表 29 バスの利用しない・交通手段】

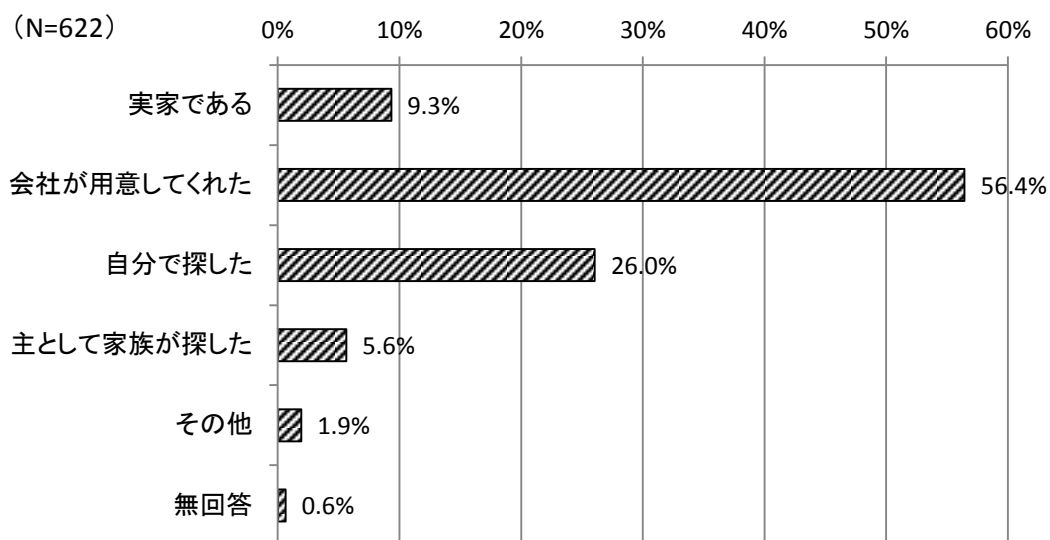


3. お住まいのことについて

問 13 現在のお住まいは、どのように探されましたか。

「会社が用意してくれた」との回答の割合が 56.4%と高い。

【図表 30 住まいをどのように探したか】



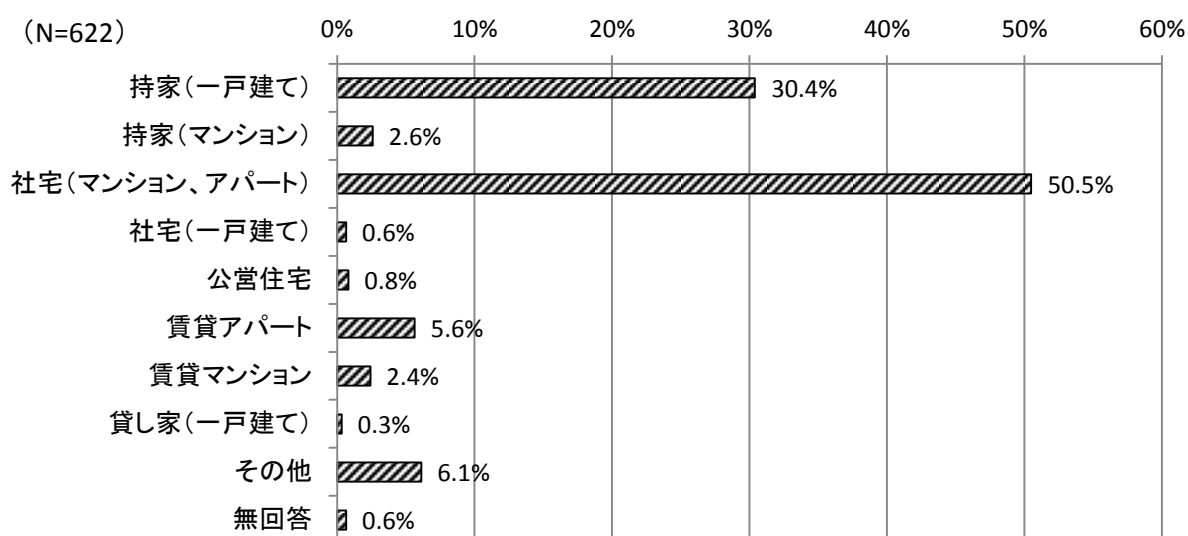
【図表 31 年代別・住まいをどのように探したか】

	(%)					
	実家である	会社が用意してくれた	自分で探した	主として家族が探した	その他	無回答
全体 (N=622)	9.3	56.4	26.0	5.6	1.9	0.6
29歳以下 (N=193)	6.2	80.8	9.3	2.1	1.6	—
30歳から39歳まで (N=225)	7.6	64.4	22.2	4.4	1.3	—
40歳から49歳まで (N=135)	14.9	25.4	48.5	8.2	3.0	—
50歳から59歳まで (N=49)	10.2	18.4	53.1	14.3	4.1	—
60歳から69歳まで (N=15)	26.7	33.3	20.0	20.0	—	—
無回答 (N=6)	—	33.3	—	—	—	66.7

問 14 住宅の種類

「社宅（マンション、アパート）」次いで「持家（一戸建て）」との回答の割合が高い。ただし、年代別にみると、「29歳以下」の層では「社宅（マンション、アパート）」の割合が高く、「持家（一戸建て）」の割合が低い。

【図表 32 住宅の種類】



【図表 33 年代別・住宅の種類】

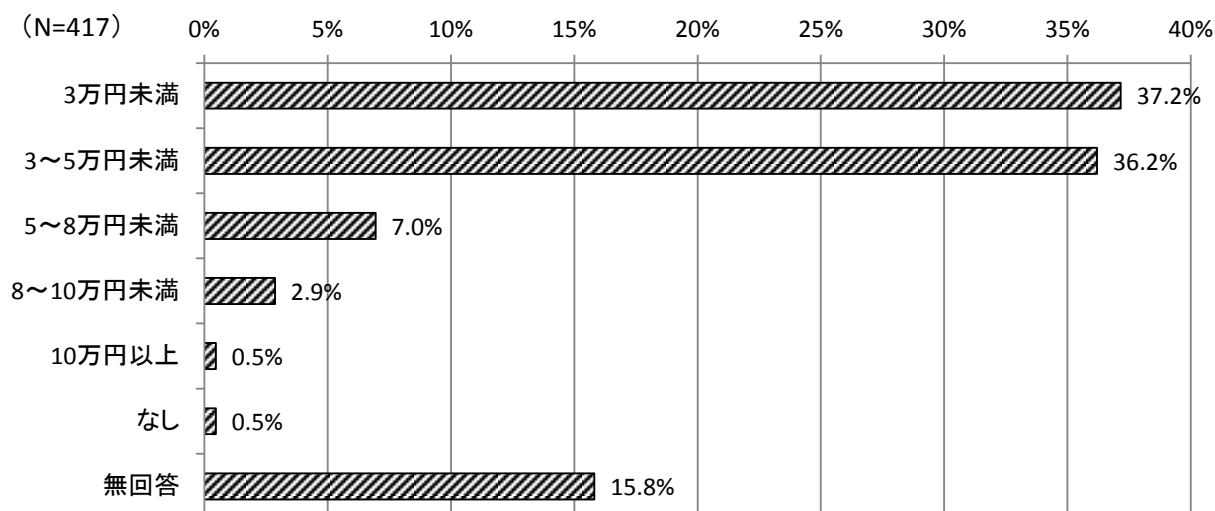
	(%)									
	持家(一戸建て)	持家(マンション)	社宅(マンション)	社宅(一戸建て)	公営住宅	賃貸アパート	賃貸マンション	貸し家(一戸建て)	その他	無回答
全体(N=622)	30.4	2.6	50.5	0.6	0.8	5.6	2.4	0.3	6.1	0.6
29歳以下(N=193)	8.8	1.6	66.3	1.6	1.0	6.2	2.1	—	12.4	—
30歳から39歳まで(N=225)	24.4	1.8	60.9	0.4	0.4	5.8	1.8	—	4.4	—
40歳から49歳まで(N=135)	58.2	3.0	26.9	—	1.5	6.7	3.0	0.7	—	—
50歳から59歳まで(N=49)	61.2	8.2	18.4	—	—	2.0	6.1	2.0	2.0	—
60歳から69歳まで(N=15)	60.0	6.7	20.0	—	—	—	—	—	13.3	—
無回答(N=6)	—	—	16.7	—	—	—	—	—	16.7	66.7

問 15 一か月の家賃

持家以外の人（前問で持家と回答した人以外）にお尋ねします。

「3万円未満」の割合が37.2%で高い。次いで「3～5万円未満」が36.2%と高い。「3万円未満」の65.2%が「29歳以下」である。

【図表 34 一か月の家賃】



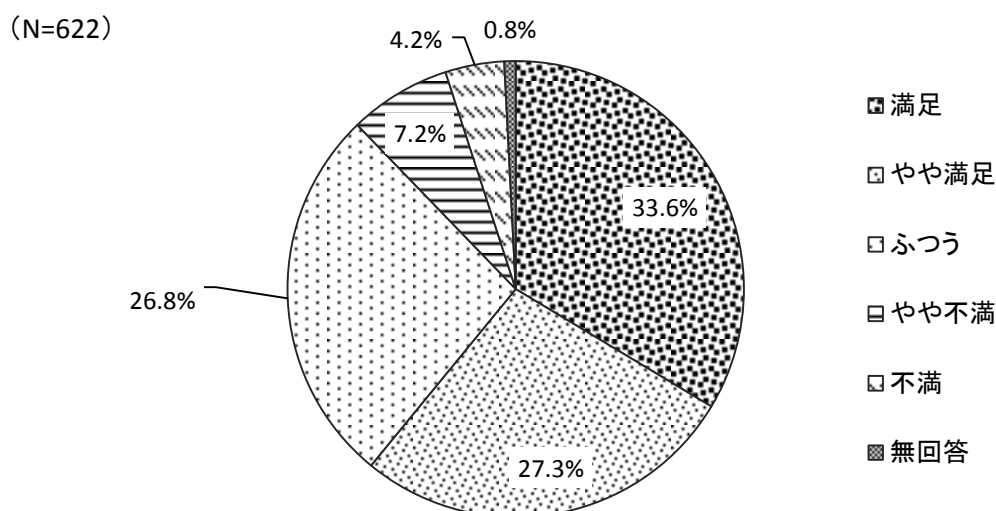
【図表 35 一か月の家賃別・年齢】

	(%)					
	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
全体(N=417)	41.5	39.8	12.5	3.6	1.2	1.4
3万円未満(N=155)	65.2	25.2	6.5	1.3	1.3	0.6
3～5万円未満(N=151)	25.8	52.3	15.9	4.0	1.3	0.7
5～8万円未満(N=29)	48.3	34.5	13.8	3.4	—	—
8～10万円未満(N=12)	—	16.7	50.0	25.0	8.3	—
10万円以上(N=2)	—	50.0	—	50.0	—	—
なし(N=2)	50.0	50.0	—	—	—	—
無回答(N=66)	27.3	51.5	12.1	3.0	—	6.1

問 16 お住まいの満足度

最も多いのは「満足」で 33.6%である。「やや満足」も 27.3%で多い。「満足」「やや満足」を合わせると全体の約 3 分の 2 である。「不満」「やや不満」を合わせると 11%程度である。居住期間別にみると、「10 年以上 20 年未満」で「満足」の割合が高い。

【図表 36 お住まいの満足度】



【図表 37 地区別・お住まいの満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=468)	29.9	27.1	29.3	8.1	5.3	0.2
高砂地区(N=75)	46.7	28.0	17.3	6.7	1.3	—
荒井地区(N=207)	30.0	28.5	26.1	8.7	6.3	0.5
伊保地区(N=70)	15.7	22.9	48.6	5.7	7.1	—
中筋地区(N=4)	50.0	25.0	—	—	25.0	—
曾根地区(N=17)	35.3	17.6	47.1	—	—	—
米田地区(N=6)	16.7	—	66.7	16.7	—	—
阿弥陀地区(N=2)	50.0	—	50.0	—	—	—
北浜地区(N=5)	—	80.0	20.0	—	—	—
無回答(N=82)	26.8	28.0	26.8	12.2	6.1	—

【図表 38 居住年数別・お住まいの満足度】

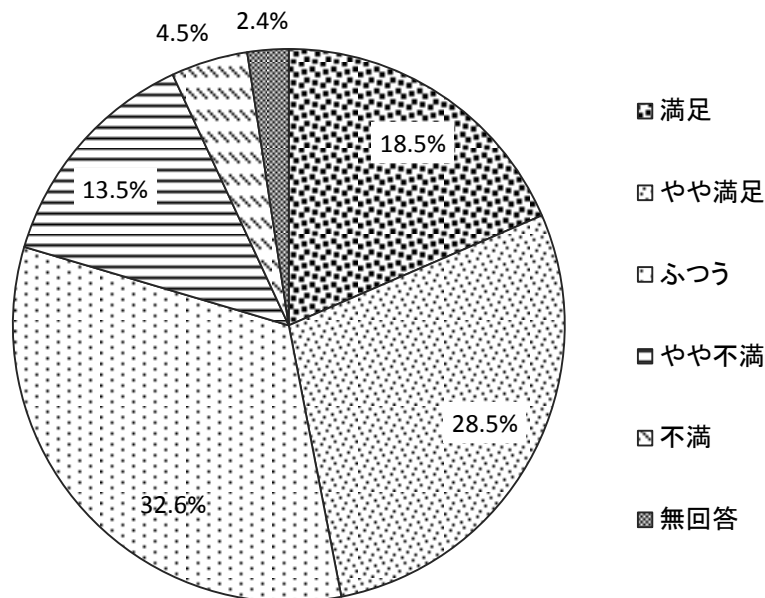
	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=622)	18.5	28.5	32.6	13.5	4.5	2.4
1年未満(N=59)	18.6	22.0	39.0	13.6	6.8	—
1年以上5年未満(N=232)	19.0	25.9	31.9	15.5	7.3	0.4
5年以上10年未満(N=128)	16.4	31.3	33.6	11.7	3.9	3.1
10年以上20年未満(N=115)	21.7	33.0	29.6	12.2	—	3.5
20年以上30年未満(N=34)	14.7	38.2	32.4	8.8	2.9	2.9
30年以上(N=31)	22.6	19.4	38.7	12.9	—	6.5
無回答(N=23)	8.7	30.4	26.1	17.4	4.3	13.0

問 17 住環境の満足度

最も多いのは「やや満足」で 30%弱である。「満足」「やや満足」「ふつう」を合わせると 80%弱である。「不満」「やや不満」を合わせた割合は 18%であり、全体のうち占める割合は低い。

【図表 39 住環境の満足度】

(N=622)



【図表 40 地区別・住環境の満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=468)	14.5	26.9	36.5	15.2	5.8	1.1
高砂地区(N=75)	22.7	20.0	38.7	13.3	4.0	1.3
荒井地区(N=207)	14.0	29.5	30.4	16.9	7.2	1.9
伊保地区(N=70)	10.0	24.3	50.0	8.6	7.1	—
中筋地区(N=4)	25.0	25.0	50.0	—	—	—
曾根地区(N=17)	17.6	23.5	47.1	11.8	—	—
米田地区(N=6)	16.7	33.3	33.3	16.7	—	—
阿弥陀地区(N=2)	—	50.0	—	50.0	—	—
北浜地区(N=5)	—	40.0	40.0	—	20.0	—
無回答(N=82)	12.2	28.0	36.6	19.5	3.7	—

【図表 41 居住年数別・住環境の満足度】

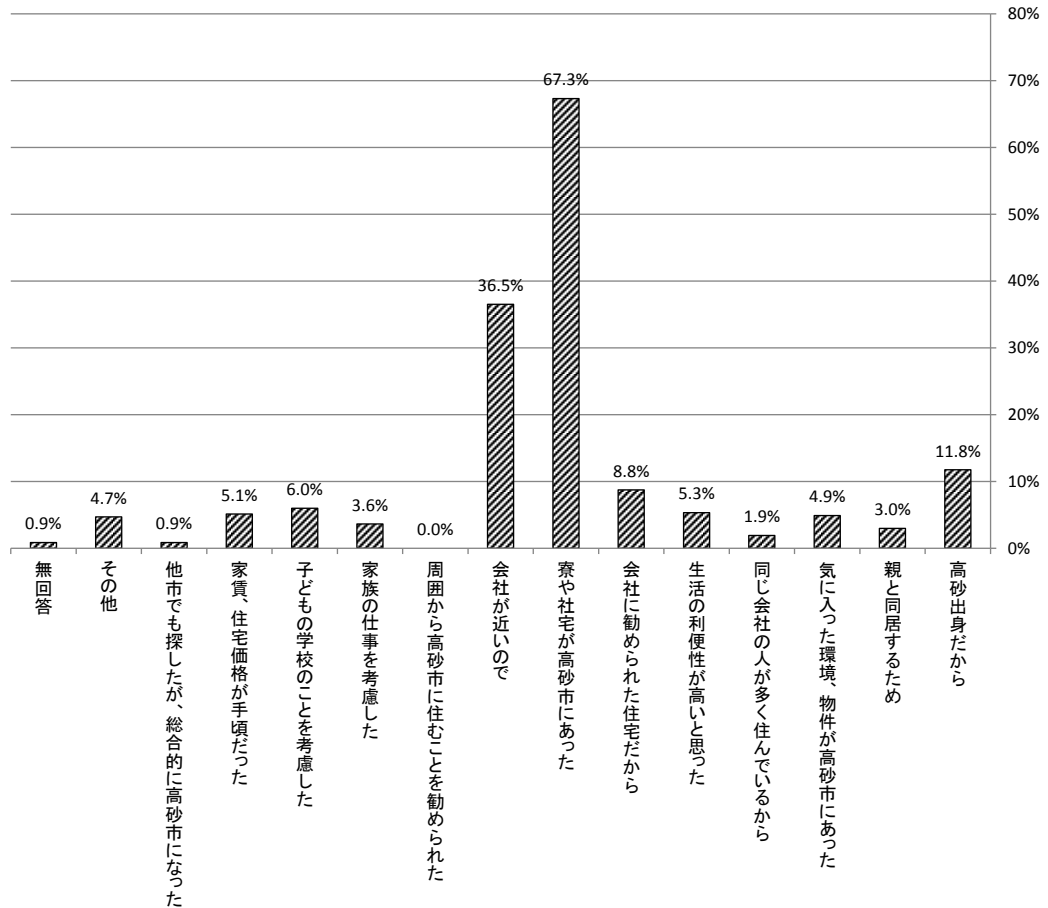
	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=622)	18.5	28.5	32.6	13.5	4.5	2.4
1年未満(N=59)	18.6	22.0	39.0	13.6	6.8	—
1年以上5年未満(N=232)	19.0	25.9	31.9	15.5	7.3	0.4
5年以上10年未満(N=128)	16.4	31.3	33.6	11.7	3.9	3.1
10年以上20年未満(N=115)	21.7	33.0	29.6	12.2	—	3.5
20年以上30年未満(N=34)	14.7	38.2	32.4	8.8	2.9	2.9
30年以上(N=31)	22.6	19.4	38.7	12.9	—	6.5
無回答(N=23)	8.7	30.4	26.1	17.4	4.3	13.0

問 18 高砂市に住んでいる人が高砂市を住所地に選んだ理由

最も多いのは「寮や社宅が高砂市にあった」で 67.3%である。

【図表 42 高砂市に住んでいる人が高砂市を住所地に選んだ理由】

(N=468)

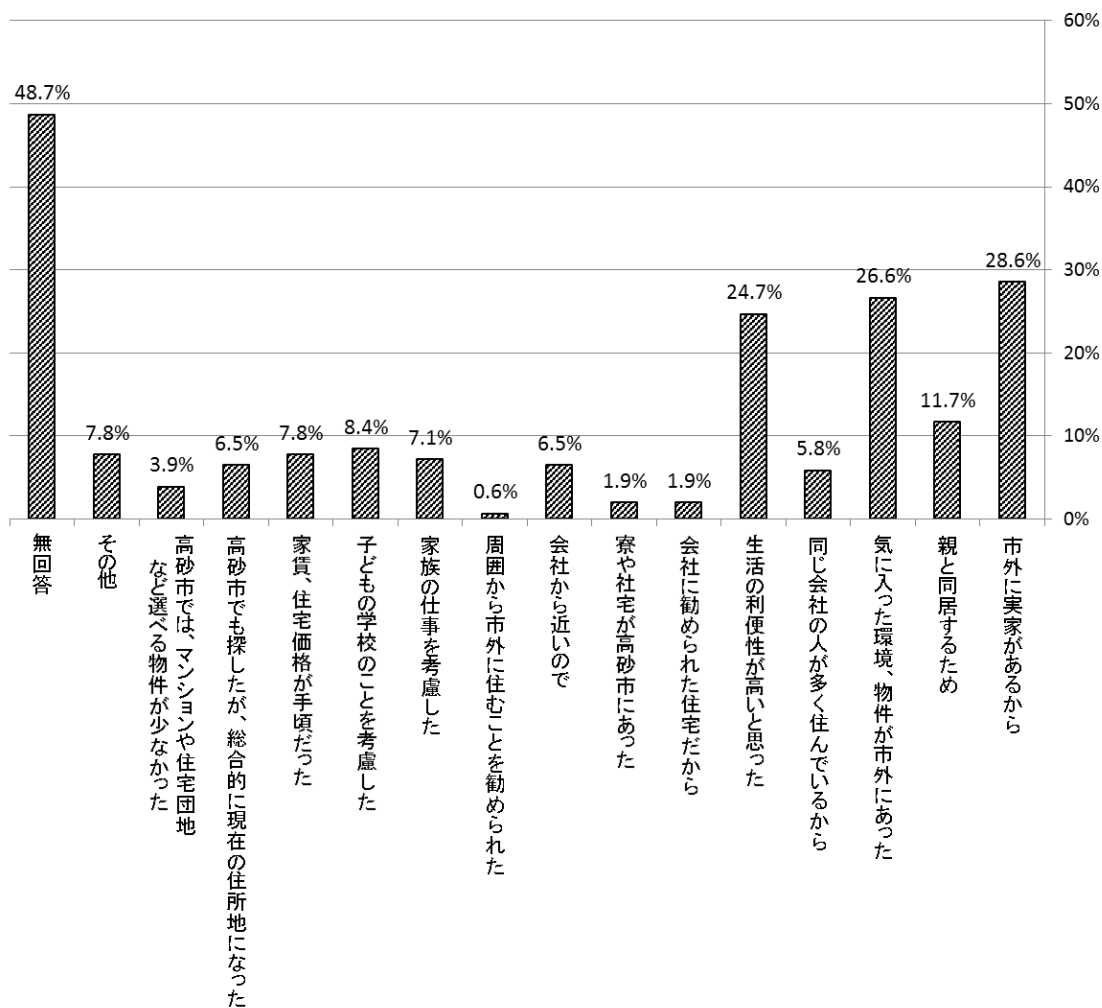


問 19 高砂市外に住んでいる人が高砂市を住所地に選ばなかった理由

最も多いのは「無回答」で 48.7%である。次いで「市外に実家があるから」28.6%、「気に入った環境、物件が市外にあった」26.6%、「生活の利便性が高いと思った」24.7%との回答が多い。

【図表 43 高砂市外に住んでいる人が高砂市を住所地に選ばなかった理由】

(N=154)

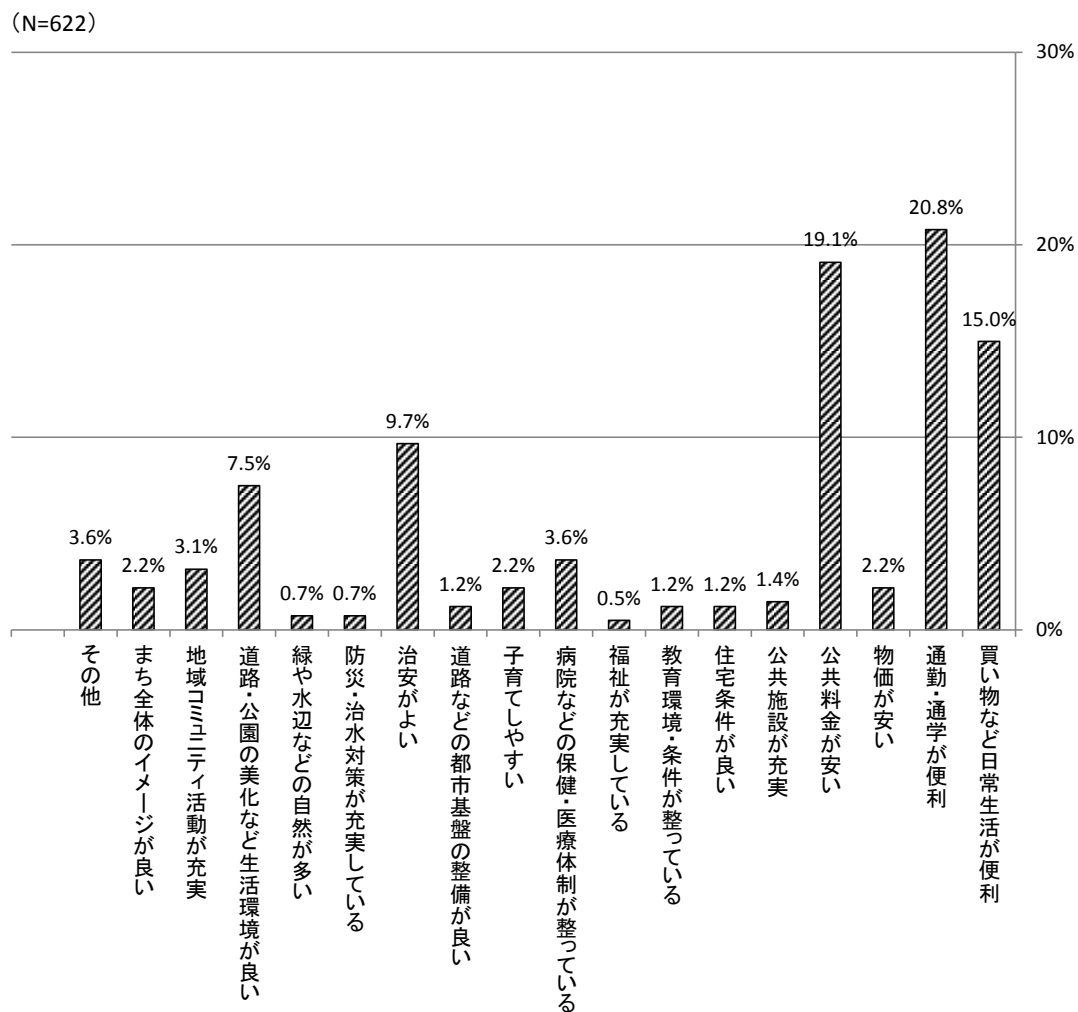


4. 高砂市の生活環境について

問 20 高砂市の生活環境でよいところ

最も多いのは「通勤・通学が便利」で 20.8%である。次いで「公共料金が安い」19.1%、「買い物など日常生活が便利」15%との回答が多い。

【図表 44 生活環境でよいところ】



【図表 45 生活環境でよいところ・性別】

(%)

N=622	男	女	無回答
買い物など日常生活が便利	70.1	16.5	13.4
通勤・通学が便利	82.4	8.8	8.8
物価が安い	75.0	6.3	18.8
公共料金が安い	61.8	20.6	17.6
公共施設が充実	83.3		16.7
住宅条件が良い	100.0		
教育環境・条件が整っている	50.0		50.0
福祉が充実している	50.0	50.0	
病院などの保健・医療体制が整っている	80.0		20.0
子育てしやすい	28.6	57.1	14.3
道路などの都市基盤の整備が良い	100.0		
治安がよい	72.0		28.0
防災、防水対策が充実している	50.0	25.0	25.0
緑や水辺などの自然が多い	73.3	13.3	13.3
道路・公園の美化など生活環境が良い	100.0		
地域コミュニティ活動が充実	50.0	25.0	25.0
まち全体のイメージが良い	70.0	10.0	20.0
その他	78.6	3.6	17.9

【図表 46 生活環境でいいところ・年齢】

(%)

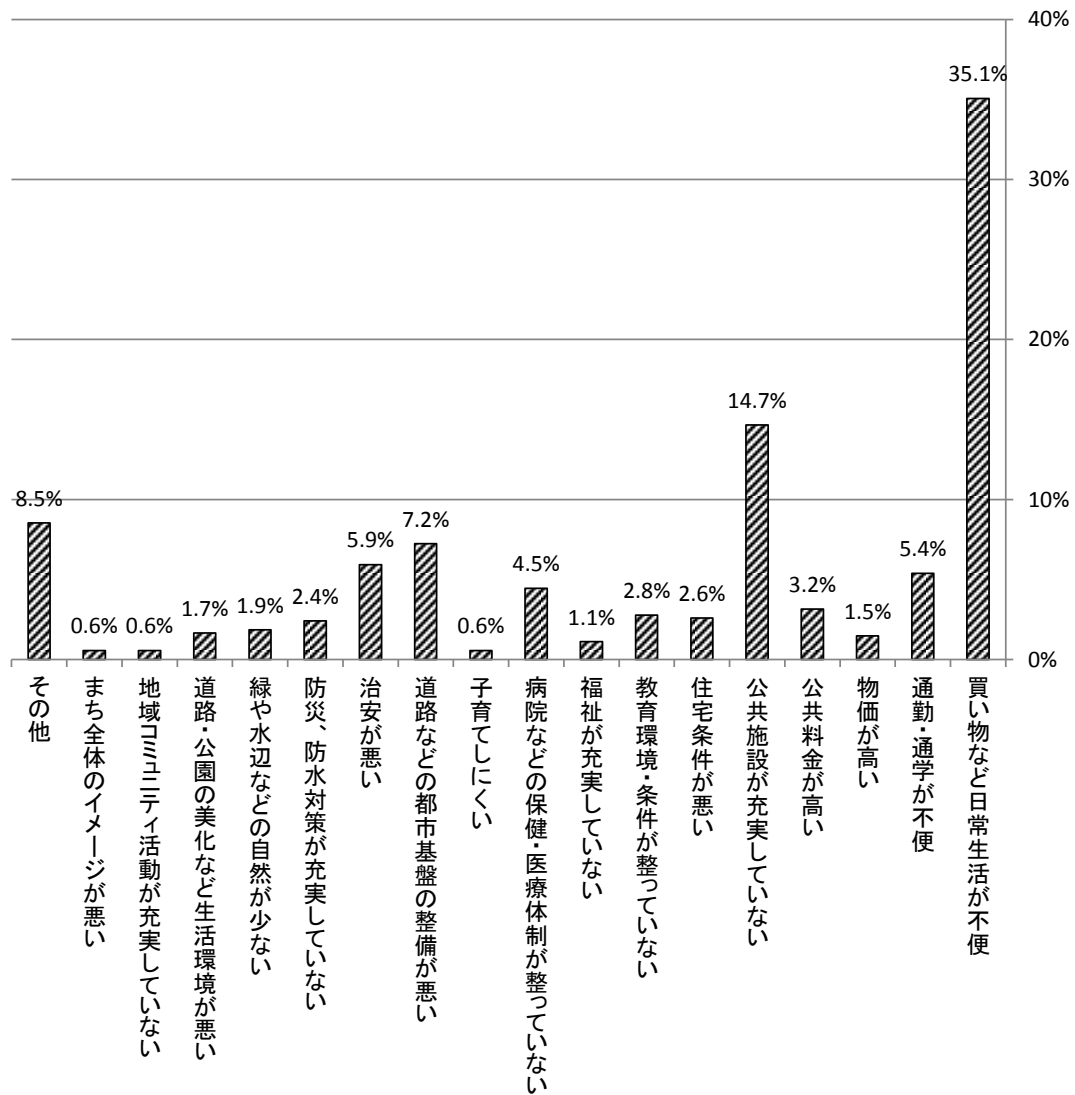
N=622	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
買い物など日常生活が便利	34.8	34.8	18.3	8.5	3.0	0.6
通勤・通学が便利	25.3	43.4	20.3	8.2	2.2	0.5
物価が安い	37.5	50.0	12.5			
公共料金が安い	25.0	38.2	32.4	2.9	1.5	
公共施設が充実	16.7		50.0	33.3		
住宅条件が良い	33.3	33.3			33.3	
教育環境・条件が整っている	50.0		50.0			
福祉が充実している		50.0	25.0	25.0		
病院などの保健・医療体制が整っている	40.0	20.0	30.0	10.0		
子育てしやすい	14.3	42.9	42.9			
道路などの都市基盤の整備が良い		50.0	50.0			
治安がよい	60.0	12.0	20.0	4.0	4.0	
防災、防水対策が充実している	25.0	50.0		25.0		
緑や水辺などの自然が多い	46.7	20.0	26.7	6.7		
道路・公園の美化など生活環境が良い	100.0					
地域コミュニティ活動が充実	25.0	50.0		25.0		
まち全体のイメージが良い	40.0	30.0	30.0			
その他	25.0	35.7	25.0	10.7	3.6	

問 21 高砂市の生活環境で悪いところ

最も多いのは「買い物など日常生活が不便」で 35.1%である。次いで「公共施設が充実していない」14.7%との回答が多い。

【図表 47 生活環境で悪いところ】

(N=622)



【図表 48 生活環境で悪いところ・性別】

(%)

N=622	男	女	無回答
買い物など日常生活が不便	76.2	9.0	14.8
通勤・通学が不便	69.0	17.2	13.8
物価が高い	75.0	12.5	12.5
公共料金が高い	70.6	11.8	17.6
公共施設が充実していない	68.4	15.2	16.5
住宅条件が悪い	50.0	35.7	14.3
教育環境・条件が整っていない	73.3	6.7	13.3
福祉が充実していない	33.3	33.3	33.3
病院などの保健・医療体制が整っていない	70.8	16.7	12.5
子育てしにくい	66.7		33.3
道路などの都市基盤の整備が悪い	76.9	5.1	17.9
治安が悪い	84.4	9.4	6.3
防災、防水対策が充実していない	92.3		7.7
緑や水辺などの自然が少ない	80.0	10.0	10.0
道路・公園の美化など生活環境が悪い	66.7	11.1	22.2
地域コミュニティ活動が充実していない	66.7	33.3	
まち全体のイメージが悪い	100.0		
その他	84.8	10.9	4.3

【図表 49 生活環境で悪いところ・年齢】

(%)

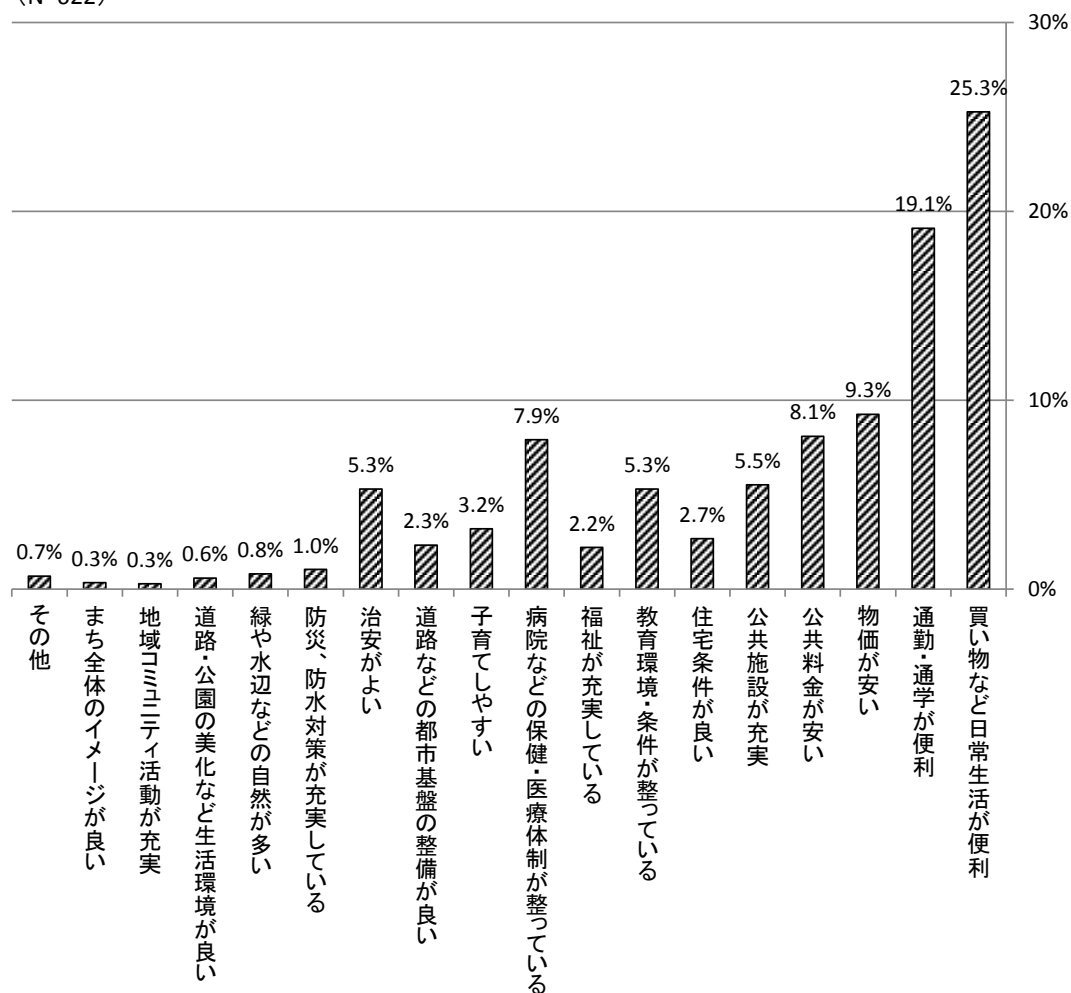
N=622	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
買い物など日常生活が不便	33.3	37.0	22.8	5.3	1.1	0.5
通勤・通学が不便	24.1	31.0	20.7	20.7	3.4	
物価が高い	25.0	62.5		12.5		
公共料金が高い	29.4	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9
公共施設が充実していない	25.3	46.8	21.5	2.5	3.8	
住宅条件が悪い	28.6	28.6	35.7	7.1		
教育環境・条件が整っていない	13.3	60.0	20.0		6.7	
福祉が充実していない	16.7	50.0	16.7	16.7		
病院などの保健・医療体制が整っていない	37.5	20.8	33.3	8.3		
子育てしにくい	33.3	33.3	33.3			
道路などの都市基盤の整備が悪い	20.5	38.5	20.5	15.4	2.6	2.6
治安が悪い	43.8	31.3	15.6	9.4		
防災、防水対策が充実していない	46.2	23.1	15.4	7.7	7.7	
緑や水辺などの自然が少ない	30.0	40.0	20.0	10.0		
道路・公園の美化など生活環境が悪い	33.3	44.4		22.2		
地域コミュニティ活動が充実していない	33.3	33.3	33.3			
まち全体のイメージが悪い		66.7	33.3			
その他	26.1	30.4	28.3	13.0	2.2	

問 22 生活環境で重要だと考えていること

最も多いのは「買い物など日常生活が便利」で 25.3%である。次いで「通勤・通学が便利」19.1%との回答が多い。

【図表 50 生活環境で重要だと考えていること】

(N=622)



【図表 51 生活環境で重要だと考えていること・性別】

(%)

N=622	男	女	無回答
買い物など日常生活が便利	71.2	15.0	13.8
通勤・通学が便利	69.5	17.7	12.8
物価が安い	69.2	17.6	13.2
公共料金が安い	72.7	13.7	13.7
公共施設が充実	75.8	6.3	17.9
住宅条件が良い	71.7	13.0	15.2
教育環境・条件が整っている	72.5	9.9	17.6
福祉が充実している	63.2	18.4	18.4
病院などの保健・医療体制が整っている	82.4	5.9	11.8
子育てしやすい	74.5	9.1	16.4
道路などの都市基盤の整備が良い	70.0	12.5	17.5
治安がよい	71.4	13.2	15.4
防災、防水対策が充実している	83.3	5.6	11.1
緑や水辺などの自然が多い	71.4	7.1	21.4
道路・公園の美化など生活環境が良い	80.0	10.0	10.0
地域コミュニティ活動が充実	75.0		25.0
まち全体のイメージが良い	100.0		
その他	100.0		

【図表 52 生活環境で重要だと考えていること・年齢】

(%)

N=622	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
買い物など日常生活が便利	32.3	37.8	19.8	7.8	1.8	0.5
通勤・通学が便利	27.4	40.5	21.0	8.8	1.5	0.6
物価が安い	40.3	30.8	17.6	6.9	3.1	1.3
公共料金が安い	25.2	41.0	19.4	10.1	4.3	
公共施設が充実	18.9	45.3	24.2	9.5	2.1	
住宅条件が良い	32.6	39.1	23.9	4.3		
教育環境・条件が整っている	22.0	47.3	24.2	5.5	1.1	
福祉が充実している	28.9	31.6	23.7	13.2	2.6	
病院などの保健・医療体制が整っている	27.9	33.1	24.3	10.3	4.4	
子育てしやすい	25.5	45.5	25.5	3.6		
道路などの都市基盤の整備が良い	12.5	25.0	27.5	25.0	7.5	2.5
治安がよい	35.2	28.6	24.2	8.8	2.2	1.1
防災、防水対策が充実している	27.8	27.8	38.9		5.6	
緑や水辺などの自然が多い	28.6	28.6	42.9			
道路・公園の美化など生活環境が良い	40.0	40.0	20.0			
地域コミュニティ活動が充実	25.0		50.0		25.0	
まち全体のイメージが良い	50.0	33.3				16.7
その他	20.0	40.0	20.0	20.0		

問 23 もし、住み替えるとしたら選択する住み替え先はどちらか。

住所地が高砂市の方が住み替えるとしたら、近隣市では、「神戸市」14.1%、「加古川市」14.1%、が多い。「わからない・考えたこともない」の回答が26%である。現在の住所地が「明石市」「神戸市」の方が、もし住み替えるとしたら希望する住み替え先はそれぞれ、現住所地を選ぶ回答が多かった。

【図表 53 希望する住み替え先】

(%)	希望する住み替え先										住所地を 変える 必要はない	わからない 考えたこともない
	高砂市	加古川市	姫路市	播磨町	稲美町	明石市	神戸市	加西市	小野市	その他		
高砂市(N=461)	13.2	14.1	9.3	0.7		8.5	14.1	1.1	0.7	4.8	7.6	26.0
加古川市(N=74)	8.1	18.9		1.4	2.7	4.1	12.2			6.8	27.0	18.9
姫路市(N=31)	9.7	9.7	38.7			9.7	3.2			3.2	12.9	12.9
明石市(N=10)						30.0	20.0			20.0	20.0	10.0
神戸市(N=11)				9.1		18.2	36.4			9.1	9.1	18.2

【図表 54 その他の内訳】

(N=31)		
住み替え先		(%)
沖縄県	(無回答)	3.2
京都府	京都市	3.2
群馬県	太田市	3.2
広島県	安芸市	3.2
	広島市	3.2
山口県	下関市	3.2
滋賀県	大津市	3.2
北海道	(無回答)	3.2
神奈川県	横浜市	9.7
	川崎市	3.2
	(無回答)	6.5
大阪府	寝屋川市	3.2
	吹田市	3.2
東京都	江戸川区平和島	3.2
	(無回答)	16.1
福岡県	(無回答)	3.2
兵庫県	三木市	3.2
	西宮市	9.7
	尼崎市	3.2
(無回答)		9.7
総計		100.0

【図表 55 年代別・希望する住み替え先】

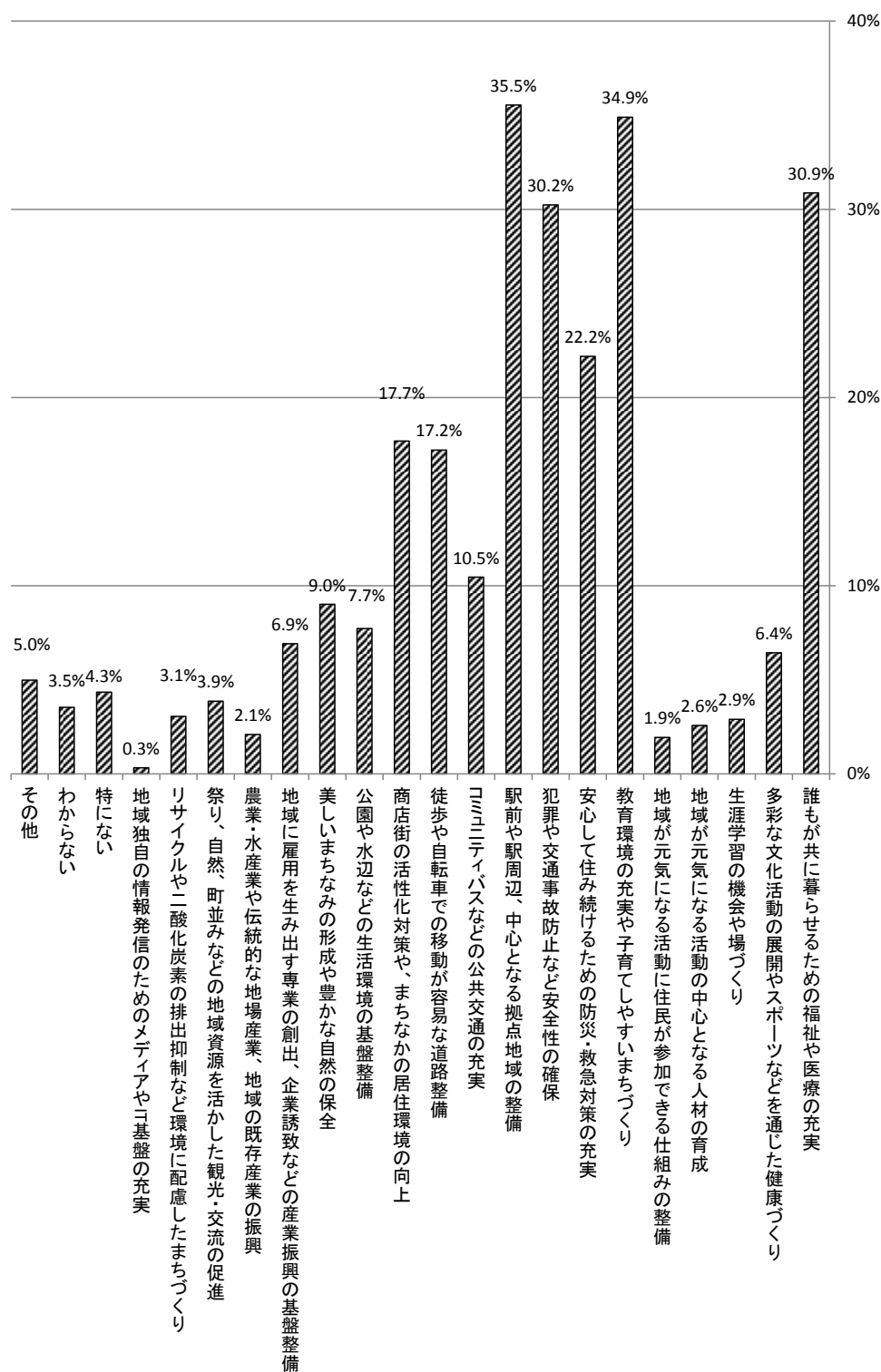
	高砂市	加古川市	姫路市	播磨町	稲美町	明石市	神戸市	加西市	小野市	その他	住所地を 変える必 要はない	わから ない・考 えたこ とも ない	(%) 無回答
全体(N=622)	11.6	13.8	9.0	0.8	0.3	8.2	13.8	0.8	0.5	5.0			1.8
29歳以下(N=193)	14.0	15.5	12.4	1.0		10.9	13.5	1.6	0.5	3.6	4.7	21.8	0.5
30歳から39歳まで(N=225)	10.7	12.9	8.4	0.9	0.9	7.1	18.2	0.4	0.9	4.9	10.2	23.6	0.9
40歳から49歳まで(N=135)	11.9	14.2	7.5	0.7		3.7	11.9			4.5	16.4	26.9	2.2
50歳から59歳まで(N=49)	8.2	14.3	4.1			14.3	4.1			12.2	20.4	20.4	2.0
60歳から69歳まで(N=15)	6.7		6.7			13.3		6.7			20.0	40.0	6.7
無回答(N=6)		16.7					16.7			16.7			50.0

問 24 高砂市に住む（住み続ける）ため、進めるべき対策は何だと思われますか。

最も多いのは「駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備」で 35.5%である。次いで「教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり」 34.9%との回答が多い。

【図表 56 進めるべき対策】

(N=622)



【図表 57 進めるべき対策・性別】

	(%)		
N=622	男	女	無回答
誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実	66.7	16.7	16.7
多彩な文化活動の展開やスポーツなどを通じた健康づくり	87.5	5.0	7.5
生涯学習の機会や場づくり	61.1	16.7	22.2
地域が元気になる活動の中心となる人材の育成	56.3	18.8	25.0
地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備	91.7		8.3
教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり	64.5	18.9	16.6
安心して住み続けるための防災・救急対策の充実	74.6	16.7	8.7
犯罪や交通事故防止など安全性の確保	71.3	14.9	13.8
駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備	76.9	9.5	13.6
コミュニティバスなどの公共交通の充実	76.9	12.3	10.8
徒歩や自転車での移動が容易な道路整備	78.5	12.1	9.3
商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上	72.7	12.7	14.5
公園や水辺などの生活環境の基盤整備	68.8	14.6	16.7
美しいまちなみの形成や豊かな自然の保全	78.6	10.7	10.7
地域に雇用を生み出す専業の創出、企業誘致などの産業振興の基盤整備	76.7	7.0	16.3
農業・水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興	92.3	7.7	
祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進	83.3	12.5	4.2
リサイクルや二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮したまちづくり	73.7	10.5	15.8
地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実	100.0		
特にない	85.2		14.8
わからない	63.6	18.2	18.2
その他	71.0	6.5	19.4

【図表 58 進めるべき対策・年齢】

	(%)					
N=622	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実	30.7	37.0	20.8	7.3	4.2	
多彩な文化活動の展開やスポーツなどを通じた健康づくり	50.0	27.5	15.0	5.0	2.5	
生涯学習の機会や場づくり	38.9	38.9	5.6	11.1	5.6	
地域が元気になる活動の中心となる人材の育成	50.0	12.5	18.8	18.8		
地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備	33.3	16.7	41.7		8.3	
教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり	25.3	49.8	19.8	3.7	0.9	0.5
安心して住み続けるための防災・救急対策の充実	24.6	35.5	26.8	8.0	5.1	
犯罪や交通事故防止など安全性の確保	34.0	35.6	21.8	6.9	0.5	1.1
駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備	31.7	30.8	26.2	9.0	1.8	0.5
コミュニティバスなどの公共交通の充実	26.2	44.6	18.5	9.2		1.5
徒歩や自転車での移動が容易な道路整備	21.5	43.0	19.6	7.5	7.5	0.9
商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上	28.2	39.1	23.6	7.3	1.8	
公園や水辺などの生活環境の基盤整備	29.2	41.7	18.8	6.3	2.1	2.1
美しいまちなみの形成や豊かな自然の保全	37.5	35.7	17.9	8.9		
地域に雇用を生み出す専業の創出、企業誘致などの産業振興の基盤整備	14.0	39.5	34.9	7.0	4.7	
農業・水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興	30.8	53.8	15.4			
祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進	50.0	29.2	16.7	4.2		
リサイクルや二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮したまちづくり	31.6	36.8	15.8	15.8		
地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実	50.0	50.0				
特にない	44.4	18.5	18.5	18.5		
わからない	40.9	18.2	22.7	18.2		
その他	32.3	32.3	25.8	6.5		3.2

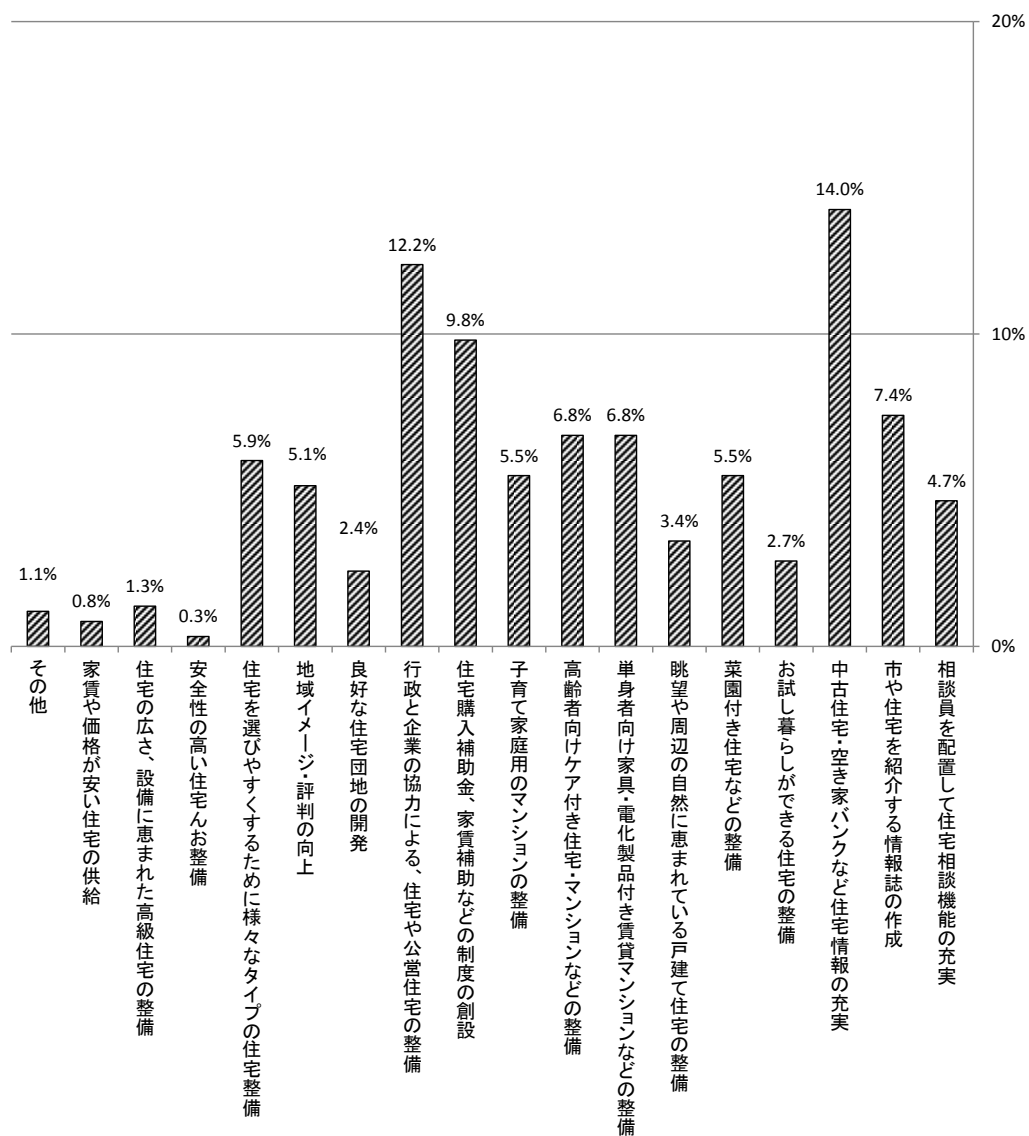
5. 人口減少対策の取組について

問 25 高砂市に住む人を増やすために必要な住宅施策

最も多いのは「中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実」で14%である。

【図表 59 必要な住宅施策】

(N=622)



【図表 60 必要な住宅施策・性別】

	(%)		
N=622	男	女	無回答
相談員を配置して住宅相談機能の充実	75.9	6.9	17.2
市や住宅を紹介する情報誌の作成	73.9	19.6	6.5
中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実	71.3	12.6	16.1
お試し暮らしができる住宅の整備	76.5	23.5	
菜園付き住宅などの整備	76.5	14.7	8.8
眺望や周辺の自然に恵まれている戸建て住宅の整備	66.7	19.0	14.3
単身者向け家具・電化製品付き賃貸マンションなどの整備	76.2	11.9	11.9
高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備	76.2	9.5	14.3
子育て家庭用のマンションの整備	58.8	26.5	14.7
住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設	77.0	14.8	8.2
行政と企業の協力による、住宅や公営住宅の整備	69.7	13.2	17.1
良好な住宅団地の開発	86.7		13.3
地域イメージ・評判の向上	75.0	12.5	12.5
住宅を選びやすくするために様々なタイプの住宅整備	67.6	8.1	24.3
安全性の高い住宅の整備	50.0		50.0
住宅の広さ、設備に恵まれた高級住宅の整備	50.0	25.0	25.0
家賃や価格が安い住宅の供給	100.0		
その他	57.1		42.9

【図表 61 必要な住宅施策・年齢】

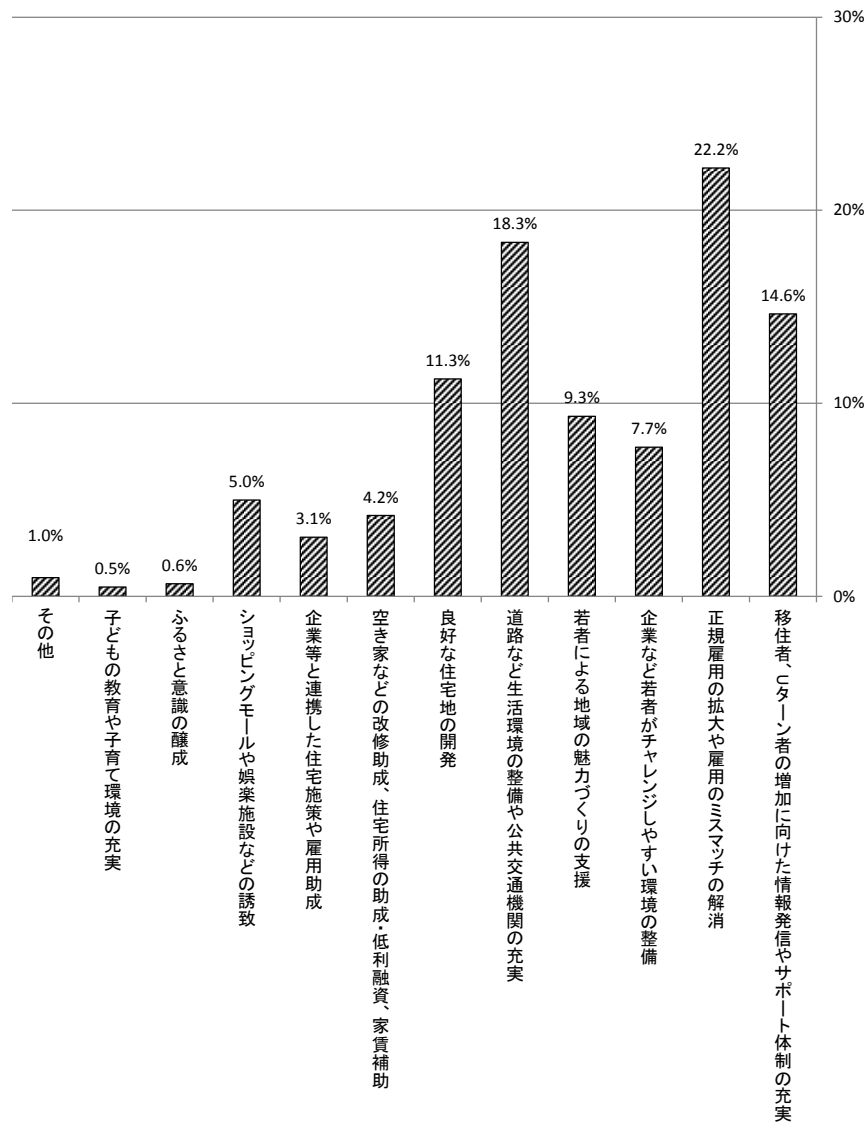
	(%)					
N=622	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
相談員を配置して住宅相談機能の充実	44.8	24.1	24.1	6.9		
市や住宅を紹介する情報誌の作成	37.0	28.3	26.1	6.5	2.2	
中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実	18.4	48.3	21.8	8.0	3.4	
お試し暮らしができる住宅の整備	41.2	35.3	11.8		11.8	
菜園付き住宅などの整備	35.3	35.3	17.6	8.8	2.9	
眺望や周辺の自然に恵まれている戸建て住宅の整備	33.3	28.6	23.8	14.3		
単身者向け家具・電化製品付き賃貸マンションなどの整備	33.3	26.2	31.0	9.5		
高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備	40.5	31.0	19.0	9.5		
子育て家庭用のマンションの整備	14.7	41.2	20.6	11.8	11.8	
住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設	37.7	41.0	16.4	3.3		1.6
行政と企業の協力による、住宅や公営住宅の整備	25.0	43.4	26.3	5.3		
良好な住宅団地の開発	53.3	20.0	6.7	13.3	6.7	
地域イメージ・評判の向上	28.1	37.5	25.0	6.3		3.1
住宅を選びやすくするために様々なタイプの住宅整備	29.7	37.8	27.0	5.4		
安全性の高い住宅の整備	50.0		50.0			
住宅の広さ、設備に恵まれた高級住宅の整備	37.5	37.5	12.5		12.5	
家賃や価格が安い住宅の供給	40.0	20.0	40.0			
その他	28.6	42.9	14.3	14.3		

問 26 転入・転出への対策としてどのような取組に力を入れるべきと考えますか。

最も多いのは「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチの解消」で 22.2%である。

【図表 62 転入・転出への対策】

(N=622)



【図表 63 転入・転出への対策・性別】

N=622	(%)		
	男	女	無回答
移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実	73.6	13.2	13.2
正規雇用の拡大や雇用のミスマッチの解消	73.9	16.7	9.4
企業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	70.8	14.6	14.6
若者による地域の魅力づくりの支援	72.4	17.2	10.3
道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実	71.9	10.5	17.5
良好な住宅地の開発	71.4	8.6	20.0
空き家などの改修助成、住宅所得の助成・低利融資、家賃補助	80.8	7.7	11.5
企業等と連携した住宅施策や雇用助成	57.9	15.8	26.3
ショッピングモールや娯楽施設などの誘致	74.2	16.1	9.7
ふるさと意識の醸成	50.0	25.0	25.0
子どもの教育や子育て環境の充実	66.7	33.3	
その他	83.3		16.7

【図表 64 転入・転出への対策・年齢】

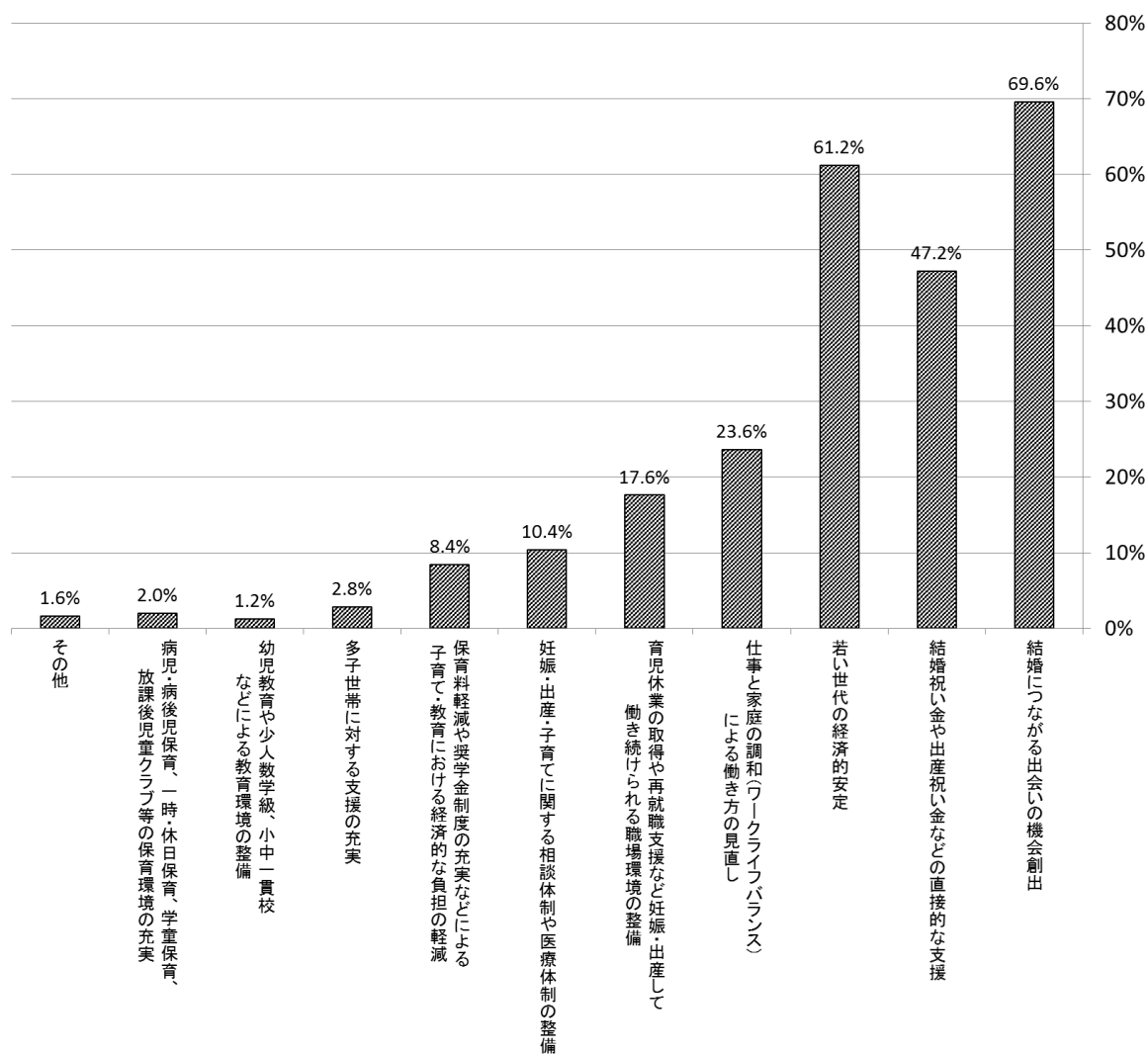
N=622	(%)					
	29歳以下	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	無回答
移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実	38.5	28.6	23.1	7.7	2.2	
正規雇用の拡大や雇用のミスマッチの解消	30.4	32.6	21.7	8.7	5.1	1.4
企業など若者がチャレンジしやすい環境の整備	37.5	31.3	14.6	12.5	4.2	
若者による地域の魅力づくりの支援	20.7	51.7	15.5	8.6	3.4	
道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実	18.4	39.5	32.5	8.8	0.9	
良好な住宅地の開発	37.1	38.6	22.9	1.4		
空き家などの改修助成、住宅所得の助成・低利融資、家賃補助	30.8	46.2	15.4	7.7		
企業等と連携した住宅施策や雇用助成	47.4	31.6	21.1			
ショッピングモールや娯楽施設などの誘致	38.7	48.4	9.7	3.2		
ふるさと意識の醸成	50.0	25.0	25.0			
子どもの教育や子育て環境の充実	33.3	33.3	33.3			
その他	50.0	16.7		33.3		

問 27 少子化に歯止めをかけるため、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。

最も多いのは「結婚につながる出会いの機会創出」で 69.6%である。

【図表 65 少子化に歯止めをかける取組】

(N=622)



【図表 66 少子化に歯止めをかける取組・性別】

N=622	(%)		
	男	女	総計
結婚につながる出会いの機会創出	81.0	5.7	13.2
結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援	71.2	17.8	11.0
若い世代の経済的安定	69.9	15.0	15.0
仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)による働き方の見直し	59.3	20.3	20.3
育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産して働き続けられる職場環境の整備	70.5	13.6	15.9
妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	65.4	15.4	19.2
保育料軽減や奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	81.0	14.3	4.8
多子世帯に対する支援の充実	71.4	14.3	14.3
幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備	66.7	33.3	
病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	80.0	20.0	
その他	75.0		25.0

【図表 67 少子化に歯止めをかける取組・年齢】

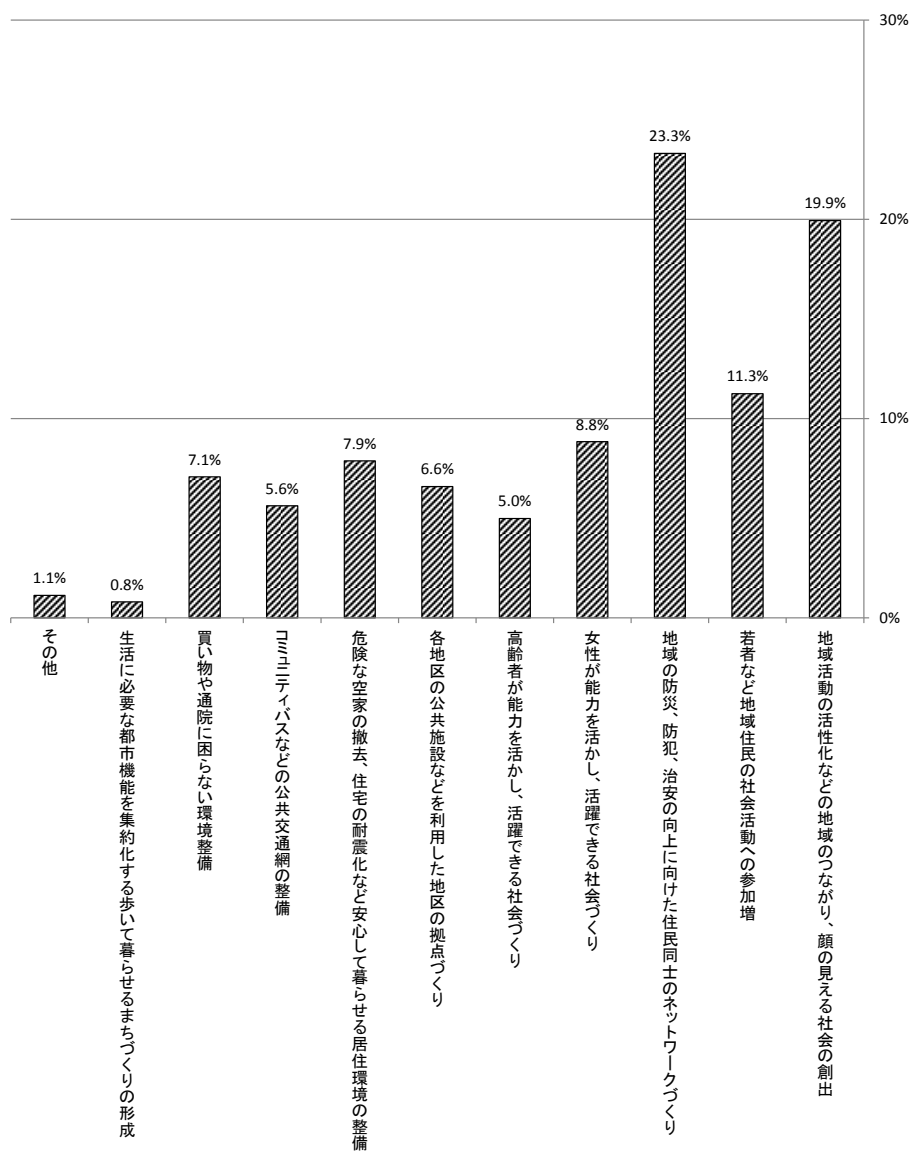
N=622	(%)					
	29歳以下	30歳から 39歳	40歳から 49歳	50歳から 59歳	60歳から 69歳	無回答
結婚につながる出会いの機会創出	44.3	28.2	16.7	8.6	1.1	1.1
結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援	39.8	40.7	16.1	2.5	0.8	
若い世代の経済的安定	25.5	36.6	22.9	11.1	3.9	
仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)による働き方の見直し	23.7	44.1	27.1	1.7	1.7	1.7
育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産して働き続けられる職場環境の整備	15.9	45.5	25.0	11.4	2.3	
妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	11.5	50.0	26.9	7.7	3.8	
保育料軽減や奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	14.3	14.3	33.3	23.8	14.3	
多子世帯に対する支援の充実		57.1	42.9			
幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備		33.3	66.7			
病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	20.0	60.0	20.0			
その他	25.0	25.0	50.0			

問 28 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際にどのような取組に力を入れるべきと考えますか。

最も多いのが「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」23.3%である。

【図表 68 安心して暮らせる地域づくりへの取組】

(N=622)



【図表 69 安心して暮らせる地域づくりへの取組・性別】

(%)			
N=622	男	女	無回答
地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	75.8	12.9	11.3
若者など地域住民の社会活動への参加増	80.0	7.1	12.9
地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	71.0	15.9	13.1
女性が能力を活かし、活躍できる社会づくり	70.9	14.5	14.5
高齢者が能力を活かし、活躍できる社会づくり	71.0	12.9	16.1
各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり	73.2	14.6	12.2
危険な空家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	71.4	16.3	12.2
コミュニティバスなどの公共交通網の整備	65.7	17.1	17.1
買い物や通院に困らない環境整備	68.2	9.1	22.7
生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくりの形成	80.0		20.0
その他	71.4		28.6

【図表 70 安心して暮らせる地域づくりへの取組・年齢】

(%)						
N=622	29歳以下	30歳から 39歳	40歳から 49歳	50歳から 59歳	60歳から 69歳	無回答
地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出	33.9	37.1	21.0	8.1		
若者など地域住民の社会活動への参加増	41.4	21.4	21.4	8.6	7.1	
地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	25.5	34.5	22.8	11.7	4.8	0.7
女性が能力を活かし、活躍できる社会づくり	38.2	41.8	12.7	7.3		
高齢者が能力を活かし、活躍できる社会づくり	22.6	38.7	32.3	6.5		
各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり	31.7	43.9	22.0		2.4	
危険な空家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	26.5	30.6	30.6	6.1	4.1	2.0
コミュニティバスなどの公共交通網の整備	14.3	57.1	25.7	2.9		
買い物や通院に困らない環境整備	34.1	43.2	18.2	2.3		2.3
生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくりの形成	60.0	20.0	20.0			
その他	57.1	14.3		28.6		

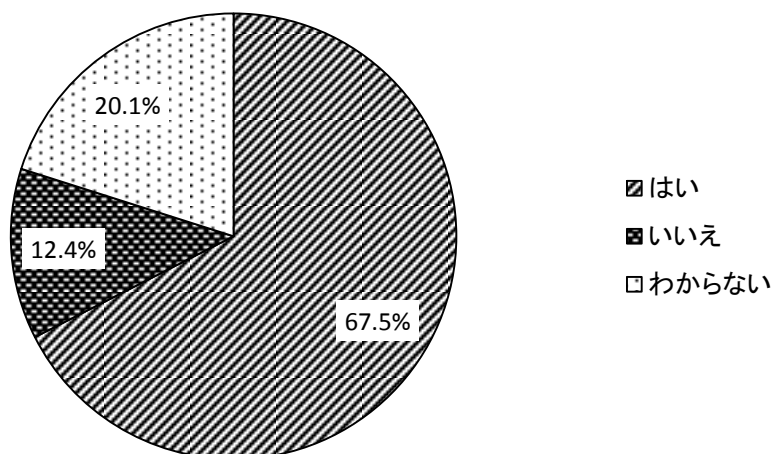
6. 結婚・子どもについて

問 29 配偶者がいない方にお尋ねします。将来的に結婚したいと思いますか。

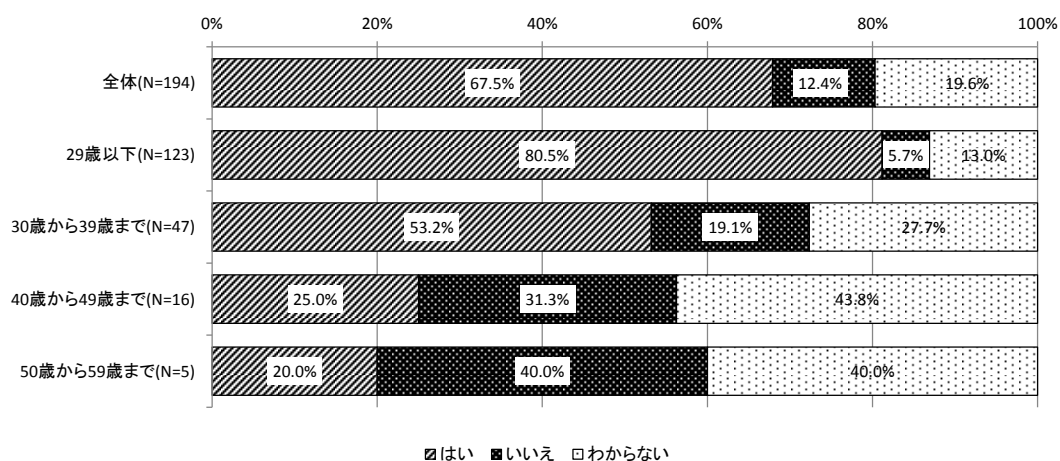
全体では「はい」が 67.5%、「いいえ」が 12.4%である。年齢別では「29 歳以下」では「はい」が 80.5%であり、最も多い。

【図表 71 結婚希望】

(N=194)



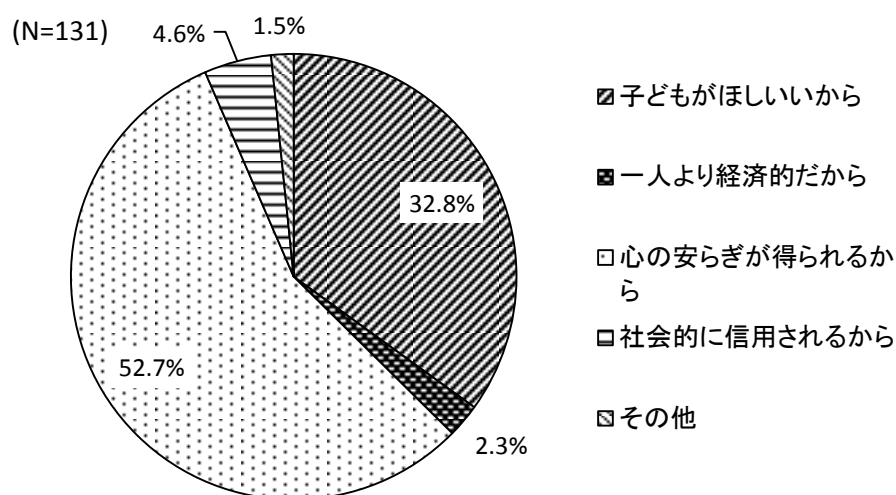
【図表 72 年代別・結婚希望】



問 30 前問（問 29）で「1.はい」を選択した方にお尋ねします。その理由は。

最も多いのは「心の安らぎが得られるから」で 52.7%である。次いで「子どもがほしいから」32.8%である。

【図表 73 結婚の理由】



【図表 74 年代別・結婚の理由】

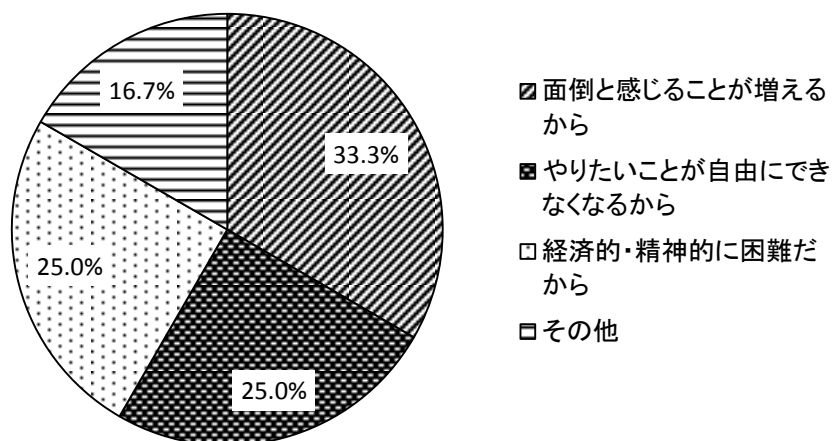
	(%)					
	子どもがほしいから	一人より経済的だから	心の安らぎが得られるから	社会的に信用されるから	その他	無回答
全体(N=131)	32.8	2.3	52.7	4.6	1.5	6.1
29歳以下(N=99)	36.4	2.0	49.5	5.1	2.0	5.1
30歳から39歳まで(N=25)	24.0	4.0	64.0	-	-	8.0
40歳から49歳まで(N=4)	25.0	-	50.0	-	-	25.0
50歳から59歳まで(N=1)	-	-	100.0	-	-	-
無回答(N=2)	-	-	50.0	50.0	-	-

問 31 前々問（問 29）で「2.いいえ」を選択した方にお尋ねします。その理由は。

回答者のうち「面倒と覚じることが増えるから」33.3%が最も多い。

【図表 75 結婚したくない理由】

(N=24)



【図表 76 年代別・結婚したくない理由】

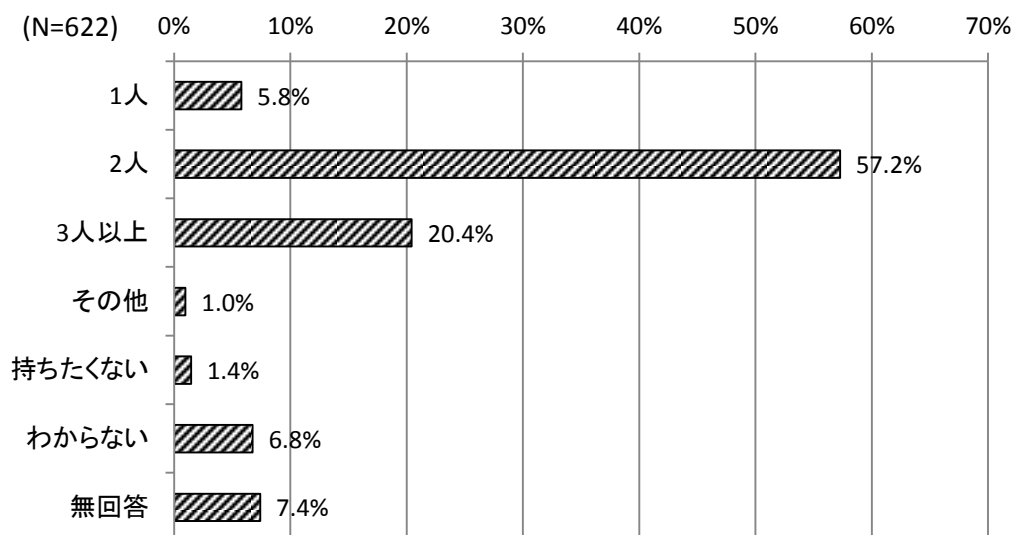
(%)

	面倒と覚じることが 増えるから	やりたいことが自由 にできなくなるから	経済的・精神的に 困難だから	その他
全体(N=24)	33.3	25.0	25.0	16.7
29歳以下(N=7)	42.9	14.3	28.6	14.3
30歳から39歳まで(N=9)	22.2	55.6	22.2	—
40歳から49歳まで(N=5)	60.0	—	40.0	—
50歳から59歳まで(N=2)	—	—	—	100.0
無回答(N=1)	—	—	—	100.0

問 32 すべての方にお聞きします（今、子どもがいる方も含めて）。子どもを持つとした場合、子どもは何人ぐらいほしいですか。

全体では「2人」が57.2%で最も多数であった。年代別でみた場合、「60歳から69歳まで」では、他の年代と比べ「3人以上」の占める割合が高い。

【図表 77 子どもの希望人数】



【図表 78 年代別・子どもの希望人数】

	(%)						
	1人	2人	3人以上	その他	持ちたくない	わからない	無回答
全体(N=250)	5.8	57.2	20.4	1.0	1.4	6.8	7.4
29歳以下(N=51)	5.7	61.7	18.7	0.5	1.0	9.3	3.1
30歳から39歳まで(N=75)	6.7	60.0	21.3	0.9		7.1	4.0
40歳から49歳まで(N=82)	6.7	56.0	16.4	1.5	3.7	5.2	10.4
50歳から59歳まで(N=36)	2.0	44.9	28.6	2.0	4.1		18.4
60歳から69歳まで(N=5)		20.0	40.0			6.7	33.3
無回答(N=1)		33.3	16.7				50.0

7. 自由意見

問 33 あなたが、高砂市と聞いて思い浮かぶことは何でしょうか。(自由記載)

有効回答 622 件に対し、160 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「祭り」「まちのイメージ」「ブランド」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼祭り

祭りが盛んなところ。

祭りの時期にガラが悪くなる。

会社の人が、祭りの時期になるとソワソワしている。

秋祭り。

伝統（祭り）を大切にしている。

▼まちのイメージ

子どもが遊ぶ公園が少ない。

バスが少なく、移動には車が必要。朝夕道が混む。

JR と山電が離れすぎていて不便。

ショッピングモール、シネコンなどがない。娯楽施設がない。

人が多く集まる場所がない。中心地がない。

他市に比べて生活基盤が整っていない。道が狭い。駅が遠い。活性化が遅れた町。

空洞化、老人の多い古い町。

既得権との葛藤。

あまり治安が良くないイメージ。

田舎過ぎず、都会過ぎず住みやすいところ。

海や川があり、自然豊かな都市。

工業の町。沿岸部に多数の企業がある。

ゴミ処理場。

住民税が高い。

言葉遣いが汚い。

高砂神社、鹿嶋神社。松。尉と姥。海と松、日本庭園。

水道料金が安い。

高齢化が進み、若い人が少ない。空き家が多い。

姫路と加古川の間。他県の方は加古川、姫路は知っているが、高砂は知らない人が多い。

にくてん。あなご。

職場。自分が勤める会社。仕事でなければ来ない。

▼ブランド

ブライダル都市高砂。(ただし婚姻率が特に高い印象はない)

ブライダル都市とうたっているのなら婚活等をもっと支援すべき。

能で「高砂」があるだけで、ブライダル都市？は言い過ぎ。

「ぼっくりん」(市のマスコット)の知名度を上げる。

高砂の 尾の上の桜 咲きにけり 外山の霞 立たずもあらなむ。

問 34 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。（自由記載）

有効回答 622 件に対し、140 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「子育て」「福祉」「医療」「まちづくり」「交通インフラ」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼子育て

子どもを育てやすい環境の充実。子育て家庭への支援。
子どもが遊べる場所の整備。
中学の給食を早く実施してほしい。
公立の保育園の早朝・延長保育の拡張。
登下校時の立ち番を市で実施してほしい。
登下校道の分煙を実施してほしい。小学生の通学路でたばこを吸っている大人がいて、危ない。
中学校の学区の見直しや廃校の検討。
子どもの一時預かりや学童保育を充実させてほしい。
公害に対する規制強化。高砂市で子どもがぜんそくになった。
高砂に勤務しているが、生活・子育てを考えると、居住は他市にした。
中学校のクラブが少ないのでやりたいことができない。
保育園の保育料の決定について、対応が悪い。
保育料のHPの内容が不親切。
両親二人とも仕事しないと保育園に入ることができません。

▼福祉

低所得の方や高齢者・障害者に対してやさしい社会形成。
「年寄りのまち」のイメージだが、モニュメント等に無駄にお金を使い、「年寄りのまち」なのに「年寄り」にやさしくない。
一人暮らしの人に対する資金援助。

▼医療

高砂市民病院の機能向上を期待している。
高砂市民病院に産婦人科がないのはどうしてなのか。住民はわざわざ加古川市民病院まで行っているのが現実。
市民病院には高額な医療機器があるが、それを扱う医療関係者の不足が気になる。活用できているのだろうか？

▼まちづくり

高砂駅周辺の整備、充実。開発すべき拠点を選定し、順に広げていく。
メインストリートの創設。
大型商業施設、娯楽施設、ウォーターフロントを活かした大型ショッピングモール等の誘致。
スポーツ施設の充実。
自治体のあり方を見直し。若い人には負担が多すぎる。
市内のところどころにお花があり良い。しかし、手入れが行き届いていない。

車の通り抜けができるような住宅地の拡張は止めていただきたい。

子供が自然を感じながら遊べる場所が無いので、緑の多い公園などがあればと思います。

工場の多い町ですので、そのイメージを裏切るようなきれいな街路樹があり舗装された道路があれば一気にイメージが変わり人や店が自然と変化していくかもしれません。

共働き世帯の増加に対応した、駅前機能の充実(保育、買い物)と、駅を中心とした公共交通機関の整備が必要では？

空家の整備をしてほしいです。

▼交通インフラ

JR と山陽電車の間の公共交通機関がない。相互に行き来ができるようにしてほしい。

相生橋の拡張を早く実施してください。スピードが遅い。

渋滞の緩和。通勤、日常生活ともに渋滞でめいる。

谷川橋の工事はいつ終わるのですか？

高砂駅から荒井町への徒歩移動は、夜は暗くて不安全に感じる。

道路が悪すぎる。

旧市街の良い街並みが残っている。壊すのではなく、うまく活用してほしい。

J R 曾根駅の南側にも改札口を作してほしいです。

J R 線と山陽線の間を南北に往来できる公共交通機関を充実させてほしい。

JR 宝殿・加古川と山電沿線をつなぐバスをもっと充実させていただきたい。

平日の昼間、朝晩は無理としても、土休日は終日、平日の朝夕は時間を拡大して荒井駅の山陽電鉄特急停車を要望したい。

▼その他

都会すぎず、田舎過ぎず住むにはいいところ。新しい施策よりも公共料金・地方税が安ければ、何もしなくても人口は増える。

「ブライダル都市高砂」と言っているが、何の施策もない。

「ブライダル都市高砂」について、今の若い人は知らないと思う。若い人の感覚とは相当ズレている。

ごみの分別によりごみ処理費の削減。

企業の誘致。

地元の企業と連携した施策の実施。安定した雇用、住環境の整備。

交通ルールを守らない人が多い。住民の気質の問題によるところか。

高砂が全力で取り組めるブランドを創る。

地デジが一部地域では映らない。電波環境の改善をお願いします。

固定資産税が高すぎる。

治水対策が大事だということをわかっていない。

市議会議員を削減することが必要。

ベランダに砂鉄の様な物が堆積しており、人体に影響あるのではないかと不安です。安心して深呼吸ができる街づくりをしてほしいです。

図書館の充実をお願いします（バリアフリー、トイレ、蔵書数など）

市民が街づくりに意見し、参画できる仕組み作りも期待しています。

工場が沢山立地し、税収はあるはずなのにその金はどこに消えているのでしょうか？浜風公園だの海辺の公園整備もいいですが、駅前に活気を取り戻すような再整備が必要では？

中古住宅を安く賃貸できたら空き家も減って治安も良くなるし、若い世代も助かるのではないか。

少量の雨でも道路が浸水しており排水対策を実施して欲しい。

婚活パーティーのような企画を市が行い、この企画で結婚したり、高砂市で籍を入れる方々に結婚給付金を出す。

工場の異臭が夏になると特に耐えられないほどひどく、家の窓を開けられない。

会社の都合で住んでいるだけなので、そして仮に結婚した場合、十中八九加古川の方に転居する。

夜中にバイクで走り回っている若い子たちをどうにかしてほしい。

Ⅲ アンケート調査票

市内企業従業者アンケート

ご協力をお願い

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より皆様におかれましては、市政全般にわたり、ご理解ならびにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、まちづくりの目標や指針を示した市政の最上位計画である「第4次高砂市総合計画」に基づいて、生活文化都市の実現に向けた各種施策を展開しています。

この計画は平成32年度までの計画であり、本年度はその中間年にあたることから基本計画の見直し作業を行うとともに、国と一体的に人口減少対策や地域の魅力創造を行う、いわゆる地方創生のための高砂市地方創生総合戦略の策定作業を併せて進めております。

この調査は、高砂市内の企業に勤務する皆様に、市の施策や取組に関して、お考えやご意見をお伺いし、後期基本計画や地方創生総合戦略の基礎資料とすることを目的に実施するものです。

たいへんお手数をおかけいたしますが、未来に向けた本市のまちづくりのため、ぜひ調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年5月

高砂市長 登 幸人

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、市内の企業にお勤めの方に、ご記入をお願いするものです。
- 2 ご回答は無記名でお願いします。(調査結果は統計的な数値、自由意見については個人が特定されないようとりまとめたうえで公表します。)
- 3 本市の生活環境や住宅対策などについて対応していくための施策への基礎資料とします。
- 4 ご回答は、質問ごとの説明にそって、調査票に直接ご記入ください。
- 5 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です。)にに入れて、

6月5日までに郵便ポストに投函してください。

お問合せ

高砂市 企画総務部 経営企画室

電話 079-443-9007(直通) ファックス 079-442-2229

Eメール tact2110@city.takasago.hyogo.jp

あなたご自身のことについて伺います

問 1～7 それぞれの項目ごとに、あてはまるものを 1 つだけ 選んで○をつけてください。

問 1 性別	1 男	2 女
問 2 年齢	1 29 歳以下 2 30 歳から 39 歳まで 3 40 歳から 49 歳まで	4 50 歳から 59 歳まで 5 60 歳から 69 歳 6 70 歳以上
問 3 結婚	1 既婚	2 未婚
問 4 家族構成	1 単身世帯 2 夫婦世帯 3 2 世代（親と子）の世帯	4 3 世代（親と子と孫）の世帯 5 その他
問 5 お子様の数	（ ）人 ※同居の有無にかかわらず。	
問 6 お住まいの 住所地	1 高砂市（ ）地区）地区がわからないときは町名をご記入ください。 2 加古川市 3 姫路市 4 播磨町 5 稲美町 6 明石市 7 神戸市 8 加西市 9 小野市 10 その他（ ）市・町）	
問 7 現在の住所地 の居住期間	1 1 年未満 2 1 年以上 5 年未満 3 5 年以上 10 年未満	4 10 年以上 20 年未満 5 20 年以上 30 年未満 6 30 年以上

お勤めの状況・通勤について伺います

問 8 お勤め先には、転勤はありますか。

あてはまるものを 1 つだけ 選んで○をつけてください。

1 有	2 無	3 わからない
-----	-----	---------

問 9 転勤のある人のみ（前問で「1」と回答した人）にお尋ねします。

今後の高砂市での職場の勤務期間はどのくらいですか。

あてはまるものを 1 つだけ 選んで○をつけてください。

1 1 年未満	2 1～3 年未満	3 3～5 年未満
4 5～10 年未満	5 10 年以上	6 わからない

問 10 通勤時の主な交通手段として、何を利用されていますか。

そのルートをお書きください。

自宅⇒

 ⇒勤務先

（記載例 徒歩 → 私鉄（姫路）→（荒井）→ 徒歩）

※ 徒歩、自転車、バイク、自動車、バス、JR、私鉄 を手段として記載してください。

JR や私鉄については（駅名）もご記入ください。

問 11 勤務先までの片道の通勤時間はどのくらいかかりますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|------------|
| 1 | 10分未満 | 2 | 10分以上30分未満 | 3 | 30分以上1時間未満 |
| 4 | 1時間以上2時間未満 | 5 | 2時間以上 | | |

問 12 最寄駅から勤務先付近までへのバス運行があった場合、バスを利用されますか、

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------|---|-----------------|
| 1 | 利用する | 2 | 運行時間・本数によって利用する |
| 3 | 利用しない | 4 | わからない |

お住まいのことについて伺います

問 13 現在のお住まいは、どのように探されましたか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|--------------------|---|------------|---|--------|
| 1 | 実家である | 2 | 会社が用意してくれた | 3 | 自分で探した |
| 4 | 主として家族（配偶者や両親）が探した | | | | |
| 5 | その他（ | | | | ） |

問 14 現在のお住まいである住宅の種類は次のどれにあてはまりますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------|
| 1 | 持家（一戸建て） | 5 | 公営住宅 |
| 2 | 持家（マンション） | 6 | 賃貸アパート |
| 3 | 社宅（マンション、アパート） | 7 | 賃貸マンション |
| 4 | 社宅（一戸建て） | 8 | 貸し家（一戸建て） |
| 9 | その他（ | | ） |

問 15 前問で持家（1. 2）以外を選択した方にお聞きします。

その住宅の1カ月の家賃は次のうちどこにあてはまりますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------|---|----------|
| 1 | 3万円未満 | 4 | 8～10万円未満 |
| 2 | 3～5万円未満 | 5 | 10万円以上 |
| 3 | 5～8万円未満 | 6 | なし |

問 16 現在のお住まいの満足度はいかがですか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|----|
| 1 | 満足 | 2 | やや満足 | 3 | ふつう | 4 | やや不満 | 5 | 不満 |
|---|----|---|------|---|-----|---|------|---|----|

問 17 現在のお住まいの住所地の住環境の満足度はいかがですか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
------	--------	-------	--------	------

問 18 高砂市に住んでいる人のみにお伺いします。

高砂市を住所地に選んだ理由は、次のうちどれにあてはまりますか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 高砂市出身だから | 2 親と同居するため |
| 3 気に入った環境、物件が高砂市にあった | |
| 4 同じ会社の人が多く住んでいるから | |
| 5 生活の利便性が高いと思った | 6 会社に勧められた住宅だから |
| 7 寮や社宅が高砂市にあった | 8 会社から近いので |
| 9 周囲から高砂市に住むことを勧められた | |
| 10 家族の仕事を考慮した | 11 子どもの学校のことを考慮した |
| 12 家賃、住宅価格が手頃だった | |
| 13 他市でもさがしたが、総合的に高砂市になった | |
| 14 その他(|) |

問 19 高砂市外に住んでいる人のみにお伺いします。

高砂市を住所地として選ばなかった理由は、次のうちどれにあてはまりますか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1 市外に実家があるから | 2 親と同居するため |
| 3 気に入った環境、物件が市外にあった | |
| 4 同じ会社の人が多く住んでいるから | |
| 5 生活の利便性が高いと思った | 6 会社に勧められた住宅だから |
| 7 寮や社宅が市外にあった | 8 会社から近いので |
| 9 周囲から市外に住むことを勧められた | |
| 10 家族の仕事を考慮した | 11 子どもの学校のことを考慮した |
| 12 家賃、住宅価格が手頃だった | |
| 13 高砂市でもさがしたが、総合的に現在の住所地になった | |
| 14 高砂市では、マンションや住宅団地など選べる物件が少なかった | |
| 15 その他 (|) |

高砂市の生活環境について伺います

問 20 高砂市の生活環境でよいところは何だと思いますか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------|-----------|
| 1 買い物など日常生活が便利 | 2 通勤・通学が便利 | 3 物価が安い |
| 4 公共料金が安い | 5 公共施設が充実 | 6 住宅条件がよい |
| 7 教育環境・条件が整っている | 8 福祉が充実している | |
| 9 病院などの保健・医療体制が整っている | 10 子育てしやすい | |
| 11 道路などの都市基盤の整備がよい | 12 治安がよい | |
| 13 防災、治水対策が充実している | 14 緑や水辺などの自然が多い | |
| 15 道路・公園の美化など生活環境がよい | 16 地域コミュニティ活動が充実 | |
| 17 まち全体のイメージがよい | | |
| 18 その他 (| |) |

問 21 高砂市の生活環境で悪いところは何だと思いますか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|------------------|-----------|
| 1 買い物など日常生活が不便 | 2 通勤・通学が不便 | 3 物価が高い |
| 4 公共料金が安い | 5 公共施設が充実していない | 6 住宅条件が悪い |
| 7 教育環境・条件が整っていない | 8 福祉が充実していない | |
| 9 病院などの保健・医療体制が整っていない | 10 子育てしにくい | |
| 11 道路などの都市基盤の整備が悪い | 12 治安が悪い | |
| 13 防災、治水対策が充実していない | 14 緑や水辺などの自然が少ない | |
| 15 道路・公園の美化など生活環境が悪い | | |
| 16 地域コミュニティ活動が充実していない | 17 まち全体のイメージが悪い | |
| 18 その他 (| |) |

問 22 あなたが、生活環境で重要であると考えていることは何ですか。

あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------|-----------|
| 1 買い物など日常生活が便利 | 2 通勤・通学が便利 | 3 物価が安い |
| 4 公共料金が安い | 5 公共施設が充実 | 6 住宅条件がよい |
| 7 教育環境・条件が整っている | 8 福祉が充実している | |
| 9 病院などの保健・医療体制が整っている | 10 子育てしやすい | |
| 11 道路などの都市基盤の整備がよい | 12 治安がよい | |
| 13 防災、治水対策が充実している | 14 緑や水辺などの自然が多い | |
| 15 道路・公園の美化など生活環境がよい | 16 地域コミュニティ活動が充実 | |
| 17 まち全体のイメージがよい | | |
| 18 その他 (| |) |

問 23 あなたが、もし、住み替えをするとしたら、選択する住み替え先はどちらですか。
国内で最も希望するもの 1 つに○をつけてください。

1	高砂市	2	加古川市	3	姫路市	4	播磨町	5	稲美町
6	明石市	7	神戸市	8	加西市	9	小野市		
10	その他（		都道府県				区・市・町・村）		
11	住所地を変える必要はない			12	わからない・考えたこともない				

問 24 高砂市に住む（住み続ける）ため、進めるべき対策は何だと思いますか。
次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

1	誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実
2	多彩な文化活動の展開やスポーツなどを通じた健康づくり
3	生涯学習の機会や場づくり
4	地域が元気になる活動の中心となる人材の育成
5	地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備
6	教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり
7	安心して住み続けるための防災・救急対策の充実
8	犯罪や交通事故防止など安全性の確保
9	駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備
10	コミュニティバスなどの公共交通の充実
11	徒歩や自転車での移動が容易な道路整備
12	商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上
13	公園や水辺などの生活環境の基盤整備
14	美しいまちなみの形成や豊かな自然の保全
15	地域に雇用を生み出す産業の創出、企業誘致などの産業振興の基盤整備
16	農業・水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興
17	祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進
18	リサイクルや二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮したまちづくり
19	地域独自の情報発信のためのメディアや I T 基盤の充実
20	特にない
21	わからない
22	その他（

人口減少対策の取り組みについて伺います

問 25 高砂市に住む人を増やすために必要な住宅施策はどのようなことをすればよいと思いますか。
次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- 1 相談員を配置して住宅相談機能の充実
- 2 市や住宅を紹介する情報誌の作成
- 3 中古住宅・空き家バンクなど住宅情報の充実
- 4 お試し暮らしができる住宅の整備
- 4 デザイナーズ住宅などの整備
- 5 菜園付き住宅などの整備
- 6 眺望や周辺の自然に恵まれている戸建て住宅の整備
- 7 単身者向け家具・電化製品付き賃貸マンションなどの整備
- 8 高齢者向けケア付き住宅・マンションなどの整備
- 9 子育て家庭用のマンションの整備
- 10 住宅購入補助金、家賃補助などの制度の創設
- 11 行政と企業の協力による、社宅や公営住宅の整備
- 12 良好な住宅団地の開発
- 13 地域のイメージ・評判の向上
- 14 住宅を選びやすくするために様々なタイプの住宅整備
- 15 安全性の高い住宅の整備
- 16 住宅の広さ、設備に恵まれた高級住宅の整備
- 17 家賃や価格が安い住宅の供給
- 18 その他()

問 26 若い世代の転入・転出への対策として、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。
次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- 1 移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実
- 2 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消
- 3 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
- 4 若者による地域の魅力づくりの支援
- 5 道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実
- 6 良好な住宅地の開発
- 7 空き家などの改修助成、住宅取得の助成・低利融資、家賃補助
- 8 企業等と連携した住宅施策や雇用助成
- 9 ショッピングモールや娯楽施設などの誘致
- 10 ふるさと意識の醸成
- 11 子どもの教育や子育て環境の充実
- 12 その他 ()

問 27 少子化に歯止めをかけるため、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- 1 結婚につながる出会いの機会創出
- 2 結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援
- 3 若い世代の経済的安定
- 4 仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）による働き方の見直し
- 5 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備
- 6 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
- 7 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 8 多子世帯に対する支援の充実
- 9 幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備
- 10 病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実
- 11 その他（ ）

問 28 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- 1 地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
- 2 若者など地域住民の社会活動への参加増
- 3 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 4 女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 5 高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 6 各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり
- 7 危険な空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
- 8 コミュニティバスなどの公共交通網の整備
- 9 買い物や通院に困らない環境整備
- 10 生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくり（コンパクトシティ）の形成
- 11 その他（ ）

結婚・子どもについて伺います

配偶者がいない方にお尋ねします。既婚の方は問 29 までお進みください。

問 29 将来的に結婚したいと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1	はい (歳頃)	2	いいえ	3	わからない
---	----------	---	-----	---	-------

問 30 前問（問 29）で「1 はい」を選択した方にお尋ねします。

下記により、その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

1	子どもがほしいから	2	一人より経済的だから
3	心の安らぎが得られるから	4	社会的に信用されるから
5	その他 ()		

問 31 前々問（問 29）で「2 いいえ」を選択した方にお尋ねします。

下記により、その理由を1つだけ選んで○をつけてください。

[illegible]

問 32 全ての方にお聞きします。(既にお子様をお持ちの方もご回答ください。)

子どもを持つとした場合、子どもは何人ぐらいほしいですか。1つだけ選んで○をつけてください。

1	1人	2	2人	3	3人以上	4	()人
5	持ちたくない	6	わからない				

問 33 あなたが、高砂市と聞いて思い浮かぶことは何でしょうか。〈自由記載〉

問 34 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。〈自由記載〉



ご協力ありがとう
ございました。
添付の返信用封筒に入れ、

6月5日までに

郵便ポストに
投函してください。